

地域医療支援病院業務報告書

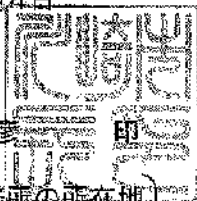
令和元年10月4日

(宛先)川崎市長 様

住所 川崎市川崎区宮本町1

氏名 川崎市 川崎市長

福田 紀彦

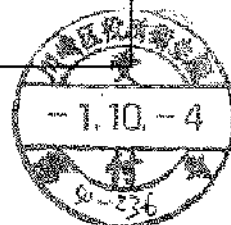
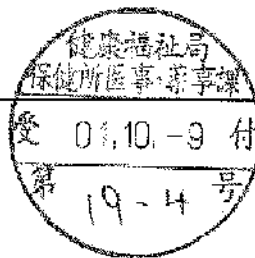


法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名

電話番号 044-200-2111(代表)

平成30年度の業務に関して報告します。

名称	川崎市立川崎病院	電話	044-233-5521
所在地	川崎市川崎区新川通12-1		
病床数	713 床		
病床種別	精神病床 38 床	感染症病床 12 床	結核病床 0床
	療養病床 0 床	一般病床 663 床	
施設の構造設備の概要			
集中治療室	院内の名称 ICU (主な設備) 病床数 12 床 人工呼吸器、全自動血液ガス分析装置ほか 別紙1-1 のとおり 特定集中治療室管理料3 受理番号 (集3)第30号 算定開始年月日 平成30年10月1日		
化学検査室	院内の名称 検体検査室 生化学自動分析装置、全自動グルコース測定装置、グリコヘモルビン分析装置ほか 別紙1-2 のとおり		
細菌検査室	院内の名称 細菌検査室 (主な設備) 血液培養装置、全自動同定・感受性検査装置/感染制御システムほか 別紙1-3 のとおり		
病理検査室	院内の名称 病理検査室 (主な設備) 電子顕微鏡、自動封入装置、自動染色装置、蛍光顕微鏡ほか 別紙1-4 のとおり		
病理解剖室	院内の名称 解剖室 (主な設備) 病理検査支援システム、解剖台 別紙1-5 のとおり		



研究室	院内の名称 研究室 21 m ² 収容人数 12名 (主な設備) パソコン、電子カルテ端末、電話 別紙1-6 のとおり
講義室	院内の名称 講堂 145.2 m ² (主な設備) 室数 1 室 収容定員 120人 可動式 プロジェクター マイク 別紙1-7 のとおり
図書室	院内の名称 図書室 (主な設備) 室数 1 室 蔵書数 10,000 冊程度 別紙1-8 のとおり
救急用又は患者搬送用自動車	院内の名称 救急自動車 (主な設備) 保有台数 1 台 トヨタTC-VCH32S 別紙1-9 のとおり
医薬品情報管理室	院内の名称 DI室(専用室) 床面積 12.3 m ² (主な設備) 室数 1 室 パソコン5台 別紙1-10 のとおり

(注意) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入してください。

- 添付書類
- 1 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績に関する書類
 - 2 地域の医療従事者による診療、研究又は研修のために利用(共同利用)の実績に関する書類
 - 3 救急医療の提供の実績に関する書類
 - 4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績に関する書類
 - 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類
 - 6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績に関する書類
 - 7 医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績に関する書類
 - 8 患者相談の実績に関する書類

			ICU
	機器名称	規 格	数 量
1	クーデックシリンジポンプ	CSP-100	15
2	クーデックシリンジ用 ポンプユナイター	PU3-200S	6
3	ビジレオモニター	MHM-1	1
4	ビジランスヘモダイナミックモニター	VIG2AP/OM-2/VIG2S	2
5	内視鏡ビデオ画像プロセッサ	OTV-SC	2
6	外部電源式内視鏡用光源装置	CLH-SC	2
7	移動型X線撮影装置	Mobile Art Revolution	1
8	全自動血液ガス分析装置	ノバ・バイオメディカルCCX	1
9	吸引器	S-711	12
10	吸引器	S901	2
11	咽頭ファイバースコープ	LF-TP	1
12	輸液ポンプ	TE-261	3
13	CEDV測定装置一式VGSV2	VGSV2	2
14	ICUトラムラック	TR-400P	11
15	ガートル台付ポンベカート	RR-972	2
16	心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス Vigilance2	3
17	非侵襲的人工呼吸器	フィリップス・レスピロニクス V60	1
18	人工呼吸器	ドレーゲル エピタXL	2
19	人工呼吸器	PB980TYPE U	2
20	除細動器	日本光電 TEC-5631 他	2
21	在室患者監視システム	オムロンコーリン ベッドサイドモニタ Solar8000i	10
22	ICU天井懸垂システム	インケアポートMODEL-277	8
23	血液浄化装置	旭化成メディカル ACH-Σ	2
24	フラッシュャー・ディスインフェクター	グティンゲジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1
25	高機能ICUベッド	パラマウントベッド KH-T650	1

別紙 1-2 化学検査室

化学検査室

	機器名称	規格	数量
1	生化学自動分析装置	BM-2250	2
2	全自動グルコース測定装置	GA-1170	1
3	グリコヘモグロビン分析装置	HA-8180	1
4	免疫測定装置	ARCHITECTi2000SR	1
5	CLEIA測定機器	LUMIPULSE Presto II	2
6	血中アンモニア測定装置	FDC-NX10N	1
7	血清ビリルビン分光光度計	B-105N	1

別紙 1-3 細菌検査室

細菌検査室

	機器名称	規格	数量
1	血液培養装置	シスメックス・バイオメリュー パクテアラート3D 360型	1
2	全自動同定・感受性検査装置/感染制御システム	ベックマン・コールター マイクロスキャンWALKAWAY96Plus	1
3	リアルタイム濁度測定装置	栄研化学 Loopamp EXIA	1

別紙 1-4 病理検査室

病理検査室

	機器名称	規格	数量
1	自動封入装置	サクラ精機 SGC-400-D	1
2	自動染色装置	サクラ精機 DRS-2000B	2
3	蛍光顕微鏡	本体 ニコン ECLIPSE E800	1
4	密閉式自動固定包埋装置	サクラファインテックジャパン ETP-5-F	1
5	密閉式自動固定包埋装置	サクラファインテックジャパン プレミア	1
6	凍結組織切片作製装置	サクラファインテック ティッシュテック クライオ	1
7	凍結組織切片作製装置	サクラファインテック ティッシュテック ポーラー	1
8	全自動免疫染色装置	ライカ Bond-max	1
9	病理検査支援システム	正晃テック WebPath	1
10	ディスカッション顕微鏡	オリンパス BX53	1
11	光学顕微鏡	ニコン、オリンパス 各種	10
12	電子顕微鏡	日本電子 JEM-1010	1
13	組織切片薄切装置	大和光機 リトラーム	2

別紙 1-5 病理解剖室

病理解剖室

	機器名称	規格	数量
1	解剖台	サクラ精機 KBH-LA	1

別紙 1-6 研究室

面積 21.0㎡

パソコン1台(インターネット接続)

電話1台

電子カルテ端末 1台

平面図は別に添付

※ 連携登録医の受入を円滑にする目的で、別途「連携登録医室(鍵、ロッカー付)」も設置している。

別紙 1-7 講義室

面積 145.2m²

収容定員 120名 (可動式座席1式)

プロジェクター 1台

別紙 1-8 図書室

書籍数 約 4,350冊
製本雑誌 約 5,200冊
購読雑誌 68誌(タイトル数)

電子ジャーナル 19誌

電子ジャーナルパッケージ

JAMA Complete Package(雑誌12誌)
Clinical Key(雑誌約600誌、書籍約1,100冊)
Ovid(雑誌30誌)、Journals Consult(雑誌1誌)
医書jp(雑誌86誌)、メディカルオンライン(雑誌約1,300誌)
J-Stage(雑誌約2,500誌)

検索データベース	医学中央雑誌web版	臨床支援ツール	UpToDate
	最新看護検索web	診療ガイドライン	Iyaku Search
	メディカルオンライン	PubMed	
パソコン	イントラPC 2台	インターネットPC	5台
	スタンドアローン 2台		
	業務用 1台		

※ スタンドアローンの1台を除き、印刷が可能。

プロジェクター 3台(貸出)

上記スクリーン 3台(貸出)

平面図は別に添付

別紙 1-9 救急用自動車

地域医療支援病院用	1台	(別に、DMAT用の救急車が1台ある)
型式	トヨタ	TC-VCH32S
車台番号	VCH32-0001745	
自動車登録番号	川崎 800 す 2152	

救急自動車使用届出確認書、自動車検査証及び写真は別に添付

別紙 1-10 DI室

パソコン等	イントラPC 1台	インターネットPC 2台
	一般薬剤用PC 1台	麻薬専用PC 1台
	電子カルテ用端末 1台	

平面図は別に添付

(様式例 第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されている
 ことを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	64.1%	算定 期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	79.8%		
算出 根拠	A：紹介患者の数		11,491人
	B：初診患者の数		17,919人
	C：逆紹介患者の数		14,291人

(注) 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その1

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
2	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
3	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
4	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
5	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
6	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
7	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
8	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
9	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
10	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
11	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
12	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
13	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
14	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
15	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
16	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
17	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
18	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
19	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ローターション	救急科
20	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その2

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
21	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
22	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
23	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
24	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
25	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
26	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
27	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
28	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
29	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
30	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
31	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
32	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
33	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
34	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
35	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
36	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
37	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
38	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
39	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
40	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その3

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
41	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
42	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	内科
43	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	内科
44	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	小児科
45	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	小児科
46	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	小児科
47	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
48	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
49	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
50	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
51	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
52	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
53	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
54	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
55	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
56	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
57	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
58	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
59	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
60	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その4

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
61	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
62	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
63	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
64	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
65	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
66	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
67	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
68	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
69	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
70	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
71	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	脳神経外科
72	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	脳神経外科
73	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
74	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	形成外科
75	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
76	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	精神科
77	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	精神科
78	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	精神科
79	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	精神科
80	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	精神科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その5

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
81	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
82	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
83	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
84	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
85	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
86	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
87	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
88	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
89	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
90	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
91	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	皮膚科
92	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	泌尿器科
93	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	泌尿器科
94	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	泌尿器科
95	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	泌尿器科
96	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
97	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
98	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
99	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
100	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その6

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
101	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
102	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
103	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
104	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	眼科
105	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	眼科
106	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	眼科
107	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	眼科
108	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	耳鼻咽喉科
109	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	耳鼻咽喉科
110	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	耳鼻咽喉科
111	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	リハビリテーション科
112	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	リハビリテーション科
113	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	放射線科
114	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	放射線科
115	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	放射線科
116	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	放射線科
117	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	放射線科
118	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	放射線科
119	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	放射線科
120	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その7

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
121	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
122	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
123	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
124	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
125	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
126	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
127	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	歯科口腔外科
128	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	歯科口腔外科
129	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
130	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
131	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	検査科
132	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	検査科
133	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	脳神経外科
134	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	脳神経外科
135	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	脳神経外科
136	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
137	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
138	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
139	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
140	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その8

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
141	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
142	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
143	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
144	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
145	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
146	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
147	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
148	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
149	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
150	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
151	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
152	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
153	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
154	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
155	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
156	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
157	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
158	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
159	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
160	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その9

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
161	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	形成外科
162	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	精神科
163	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
164	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
165	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
166	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	皮膚科
167	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	泌尿器科
168	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	泌尿器科
169	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
170	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
171	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	耳鼻咽喉科
172	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	耳鼻咽喉科
173	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
174	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
175	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
176	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
177	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
178	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	歯科口腔外科
179	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	検査科
			常勤 専従 非常勤 非専従		

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その10

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
2	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
3	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
4	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
5	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
6	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
7	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
8	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
9	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
10	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
11	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
12	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
13	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
14	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
15	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
16	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
17	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
18	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
19	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
20	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その11

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
21	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
22	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
3			常勤 専従 非常勤 非専従		
4			常勤 専従 非常勤 非専従		
5			常勤 専従 非常勤 非専従		
6			常勤 専従 非常勤 非専従		
7			常勤 専従 非常勤 非専従		
8			常勤 専従 非常勤 非専従		
9			常勤 専従 非常勤 非専従		
10			常勤 専従 非常勤 非専従		
11			常勤 専従 非常勤 非専従		
12			常勤 専従 非常勤 非専従		
13			常勤 専従 非常勤 非専従		
14			常勤 専従 非常勤 非専従		
15			常勤 専従 非常勤 非専従		
16			常勤 専従 非常勤 非専従		
17			常勤 専従 非常勤 非専従		
18			常勤 専従 非常勤 非専従		
19			常勤 専従 非常勤 非専従		
20			常勤 専従 非常勤 非専従		

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その12

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
2	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
3	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
4	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
5	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
6	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
7	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
8	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
9	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
10	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
11	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
12	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
13	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
14	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
15	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
16	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
17	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
18	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
19	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
20	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その14

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
2	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
3	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
4	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
5	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
6	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
7	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
8	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
9	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
10	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
11	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
12	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
13	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
14	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
15	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
16	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
17	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
18	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
19	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
20	診療放射線技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その17

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
2	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
3	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
4	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
5	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
6	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
7	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
8	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
9	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
10	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
11	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
12	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
13	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
14	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
15	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
16	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
17	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
18	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
19	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
20	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その18

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
21	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
22	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
23	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
24	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
25	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
26	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
27	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
28	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
29	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
30	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
31	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
32	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
33	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
34	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
35	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
36	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
37	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
38	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
39	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
40	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その19

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
41	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
42	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
43	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
44	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
45	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
46	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
47	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
48	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
49	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
50	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
51	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
52	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
53	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
54	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
55	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
56	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
57	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
58	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
59	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
60	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その20

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
61	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
62	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
63	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
64	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
65	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
66	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
67	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
68	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
69	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
70	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
71	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
72	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
73	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
74	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
75	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
76	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
77	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
78	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
79	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
80	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その21

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
81	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
82	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
83	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
84	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
85	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
86	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
87	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
88	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
89	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
90	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
91	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
92	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
93	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
94	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
95	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
96	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
97	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
98	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
99	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
100	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その22

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
101	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
102	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
103	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
104	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
105	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
106	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
107	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
108	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
109	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
110	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
111	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
112	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
113	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
114	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
115	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
116	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
117	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
118	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
119	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
120	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その23

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
121	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
122	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
123	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
124	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
125	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
126	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
127	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
128	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
129	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
130	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
131	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
132	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
133	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
134	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
135	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
136	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
137	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
138	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
139	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
140	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その24

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
141	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
142	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
143	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
144	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
145	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
146	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
147	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
148	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
149	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
150	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
151	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
152	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
153	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床		床
専用病床	ER 16床 EICU 4床	

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

(様式例第13)

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

3. 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター	266.91 m ²	(主な設備) 別紙 3-1のとおり	可
EICU	70.69 m ²	(主な設備) 別紙 3-2のとおり	可
一般撮影室	612.70 m ²	(主な設備) 別紙 3-3のとおり	可
CT室	262.90 m ²	(主な設備) 別紙 3-4のとおり	可
MR検査室	212.70 m ²	(主な設備) 別紙 3-5のとおり	可
生理検査室	358.50 m ²	(主な設備) 別紙 3-6のとおり	可
検体検査室	338.90 m ²	(主な設備) 別紙 3-7のとおり	可
血液センター	69.80 m ²	(主な設備) 別紙 3-8のとおり	可
ICU/GCU	167.42 m ²	(主な設備) 別紙 3-9のとおり	可
NICU/GCU	123.89 m ²	(主な設備) 別紙 3-10のとおり	可
内視鏡センター	201.40 m ²	(主な設備) 別紙 3-11のとおり	可
手術室	401.94 m ²	(主な設備) 別紙 3-12のとおり	可
透析室	83.20 m ²	(主な設備) 別紙 3-13のとおり	可
ヘリポート	249.30 m ²	(主な設備) 別紙 3-14のとおり	可

4 備考 別紙 3-15 3-16 及び 3-17 のとおり

救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院認定
 救急病院認定 「救急病院等の認定について(通知)平成28年12月6日(医第 432号)」
 平成29年2月1日から平成32年1月31日まで
 神奈川県告示第2555号 平成28年2月7日
 救急医療対策事業実施要綱(昭和52年7月6日付医発第692号厚生省医務局長通知)に規定する指定
 救命救急センターの指定「救命救急センターの指定について(通知)平成18年3月29日(医第 876号)」

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
 既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院
 の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692
 号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載するこ
 と。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入 した救急患者の数	5,530人 (1,934人)
上記以外の救急患者の数	19,940人 (384人)
合計	25,470人 (1,968人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車 別紙 1-9 のとおり

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

別紙 3-1 救命救急センター

救命救急センター

	機器名称	規 格	数量
1	全身用X線CT装置	東芝 TSX-101A Aquilion CX	1
2	一般X線撮影装置	島津 R-30H	1
3	移動型X線撮影装置	島津 MOBILE Art Lumina	1
4	救急用ストレッチャー	日本ストライカー SM204	1
5	ポータブル超音波診断装置	ソノサイトジャパン マイクロマックス	1
6	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-2301	7
7	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-7105	1
8	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-7106	1
9	全自動血液ガス分析装置	バイエルメディカル ラピッドポイント405	1
10	人工呼吸器	P200D	1
11	搬送用人工呼吸器	ドレーゲルメディカル オキシログ3000	2
12	血液浄化装置	旭化成メディカル ACH-Σ	1
13	超音波診断装置	X-PORTE 他	2
14	フラッシュャーディスインフェクター	GETINGE607LCC-2P-50	1
15	超音波診断装置(救急用)	富士フイルムメディカル FAZONE M	1
16	経皮的心肺補助装置	テルモ キヤピオックスEBS	1
17	小型冷温水層	メラ HHC-51	1
18	ストレッチャー	K-726 他	11
19	二又アウトレット	MS2-OS	1
20	体温管理システム	アークティックサン モデル5000	1
21	処置診断用照明機器	山田医療照明 SKYPET II	1
22	手術用無影灯	山田医療照明U6360他	2
23	挿管用咽頭鏡	AWS-S100L	3
24	携帯型軟性内視鏡	MAF-GM	1
25	産婦人科診察台	DG-310	1
26	薬用冷蔵冷凍庫	MPR-215F-PJ	1

別紙 3-1 救命救急センター

救命救急センター

	機器名称	規格	数量
27	製氷機	ICE MAKER20	1
28	酸素流量計・圧力調整器	G-10L 他	3
29	除細動器	TEC-5631	1
30	電動診察台	EX-2V	1
31	心電計	ECG-2550	1
32	ミニドゥプレックスドブラー		1
33	全自動血圧計	TM2655P	1
34	急性期患者情報システム	オムロン ERシステム	1
35	心臓マッサージシステム	LUCAS YM2	1
36	患者加温装置	3M ベアハガー モデル675	1

別紙 3-2 EICU

			EICU
	機器名称	規格	数量
1	エアーマット	CR-280 他	2
2	人工呼吸器	コヴィディエンPB840	6
3	シリンジポンプ	テルモ TE-33IS 他	12
4	シャウカステン	10inverter Moryama x-ray	1
5	医用テレメーター	日本光電 WEP-5105 他	21
6	デジタル体重計	BWB-627	1
7	ストレッチャー	K726	1
8	温蔵庫	HC-18S	1
9	冷蔵庫	GF-H13H	1
10	処置灯	No.30S	2
11	吸引器	S-711	18
12	心電計	ECG-1250	1
13	殺菌線消毒ロッカー		1
14	汎用血液ガス分析装置	405システム	1
15	フラッシュャーディスインフェクター	GETINGE607LCC-50	1
16	清拭車	NS-910	1
17	無音振冷蔵庫	TY-C15	1
18	空気清浄器	ACP-895BH-AI	1
19	薬用冷蔵ショーケース	DC-ME31A	1
20	製氷機	CM-60A	1
21	解析機能付セントラルモニタ	CNS-9701	2
22	超音波診断装置	ソノサイト LO432b 他	2
23	輸液ポンプ	JMS OT-888	30
24	間欠型空気圧式マッサージ器	パメディックス	1
25	除細動器	日本光電 TEC-5631 他	2
26	電動iCUベッド	モデル1900	7

別紙 3-3 一般撮影室

一般撮影室

	機器名称	規格	数量
1	一般X線撮影装置	東芝 MRAD-A80S	6
2	乳房用X線撮影装置	東洋メディック diamond	1
3	遠隔式X線透視撮影装置	島津 C-vision Safire17	1
4	遠隔式X線透視撮影装置	島津 SONIALVISION G4	1
5	移動型X線撮影装置	島津 CALNEO Go	1
6	パノラマ撮影X線装置	モリタ X500GP-CR	1

別紙 3-4 CT室

			CT室
	機器名称	規格	数量
1	全身用X線CT装置	東芝 TSX-101A Aquilion NA	1
2	全身用X線CT装置	東芝 TSX-102A Aquilion HA	1

別紙 3-5 MR検査室

MR検査室

	機器名称	規 格	数 量
1	超伝導式磁気共鳴画像診断装置	フィリップス Intera Achieva NOVA Dual 1.5T	1
2	超伝導式磁気共鳴画像診断装置	フィリップス Intera Achieva NOVA Dual 1.5T	1

別紙 3-6 生理検査室

生理検査室

	機器名称	規格	数量
1	脳波検査システム	日本光電 EEG-1218	1
2	超音波診断装置(生理検査)	GE横河メディカルシステム LOGIQ7	1
3	心電計	日本光電 ECG-2550	1
4	心電計	日本光電 ECG-1550	3
5	脳波計	日本光電 EEG-1214	1
6	新生児用聴覚検査装置	日本光電 MAAS	1

別紙 3-7 検体検査室

検体検査室

	機器名称	規格	数量
1	生化学自動分析装置	BM-2250	2
2	全自動グルコース測定装置	GA-1170	1
3	免疫測定装置	ARCHITECTi2000SR	1
4	CLEIA測定機器	LUMIPULSE Presto II	2
5	血中アンモニア測定装置	FDC-NX10N	1
6	血清ビリルビン分光光度計	B-105N	1
7	自動血球分析装置	XE-5000	2
8	血液凝固分析装置	CS-2100i	2
9	血液ガス測定装置	Rapidlab 1265	2
10	全自動尿分析装置	AX-4030	1
11	電解質分析装置	PVA-EX II	1
12	浸透圧測定装置	OM-6060	1
13	尿自動分析装置	US-2200	1

別紙 3-8 血液センター

血液センター

	機器名称	規格	数量
1	全自動輸血検査装置	ORTHO VISION	1

			ICU
	機器名称	規格	数量
1	クーデックシリンジポンプ	CSP-100	15
2	クーデックシリンジ用 ポンプユナイター	PU3-200S	6
3	ビジレオモニター	MHM-1	1
4	ビジランスヘモダイナミックモニター	VIG2AP/OM-2/VIG2S	2
5	内視鏡ビデオ画像プロセッサ	OTV-SC	2
6	外部電源式内視鏡用光源装置	GLH-SC	2
7	移動型X線撮影装置	Mobile Art Revolution	1
8	全自動血液ガス分析装置	ノバ・バイオメディカルCCX	1
9	吸引器	S-711	12
10	吸引器	S901	2
11	咽頭ファイバースコープ	LF-TP	1
12	輸液ポンプ	TE-261	3
13	CEDV測定装置一式VGSV2	VGSV2	2
14	ICUトラムラック	TR-400P	11
15	ガートル台付ポンベカート	RR-972	2
16	心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス Vigilance2	3
17	非侵襲的人工呼吸器	フィリップス・レスピロニクス V60	1
18	人工呼吸器	ドレーゲル エピタXL	2
19	人工呼吸器	PB980TYPE U	2
20	除細動器	日本光電 TEC-5631 他	2
21	在室患者監視システム	オムロンコーリン ベッドサイドモニター Solar8000i	10
22	ICU天井懸垂システム	インケアポートMODEL-277	8
23	高機能ICUベッド	パラマウントベッド KH-T650	1
24	持続線式血液浄化装置	旭メディカル ACH-Σ	2
25	フラッシュャーディスインフェクター	グティンゲジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1

別紙 3-10 NICU/GCU

NICU/GCU

	機器名称	規格	数量
1	鼻腔式持続陽圧呼吸補助装置	エアウォーター インファントフローサイバップ	2
2	超音波診断装置	東芝 Xario	1
3	新生児用人工呼吸器	ドレーゲル Babylog 8000plus	4
4	新生児用人工呼吸器	イワキ カリオベα	2
5	光凝固装置	エレックス ソリティア	1
6	血液ガス分析装置	ラジオメーター ABL835FLEX	1
7	CRシステム	コダック CR ELITE-19	1
8	ポータブルX線撮影装置	シーメンス MOBILETT XP	1
9	CRP測定器	日水製薬 エバネットEV20	1
10	脳機能モニタ	アイエムアイ16ch 124 01 20	1
11	呼吸機能測定装置	アイビジョンアーフェルⅢ	1
12	閉鎖式保育器	アトムメディカル	6
13	生体情報モニター	フィリップス MP50	5
14	体温管理システム	アイ・エム・アイ アークティックサン	1
15	搬送用保育器	アトムメディカル V-808 SpO2	2
16	開放型保育器	アトムメディカル インファウォーマーI	1

	機器名称	規格	数量
1	電子内視鏡システム	オリンパスEVIS ルセラ260システム	1
2	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-240I	2
3	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q260	3
4	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q240	1
5	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260	5
6	上部消化管処置用2チャンネル内視鏡	オリンパス GIF-2T240	1
7	十二指腸用電子スコープ	オリンパス JF-240	1
8	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス TJF-240	1
9	下部消化管ビデオスコープ	オリンパスOF-H260AZ1	1
10	内視鏡管理システム	オリンパス SolemioENDO	1
11	高周波手術装置	エルベ VIO-300D	1
12	電気メス	エルベ VIO-200S	1
13	気管支ビデオスコープ	オリンパス EVISLUCERA BF-6C260	1
14	アルゴンプラズマシステム	アムコ アルゴンプラズマ APC300 他	1
15	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260Z	3
16	気管支超音波穿刺システム	オリンパス スコープ BF-UC260F-OL8/観測装置EU-C2000	1
17	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-XP260F	1
18	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q260AI	3
19	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q260AZ1	1
20	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス JF-260V	2
21	超音波内視鏡システム	オリンパス EU-ME1他	1
22	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-P260F	1
23	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-XP260NS	1
24	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-260	1
25	内視鏡室マネジメントシステム	Solemio ENDO Ver. 4	1
26	電子内視鏡システム	オリンパスEVIS ルセラ290システム	4

別紙 3-11 内視鏡センター

内視鏡センター

	機器名称	規 格	数 量
27	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-H290	2
28	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-H290Z	1
29	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-HQ290	1
30	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GF-VCT260	1
31	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GF-VE260	1
32	下部消化管ビデオスコープ	オリンパス PCF-H290ZI	1
33	下部消化管ビデオスコープ	オリンパス CF-HQ290ZI	1
34	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-P290	3
35	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-1TQ290	2
36	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-1T260	1

	機器名称	規 格	数 量
1	弁手術用開胸器システム	St. Jude Medical KS-7002 他	1式
2	外科内視鏡システム	オリンパスCLV-190他	6
3	整形外科用内視鏡手術装置	ストライカー MV-882TE 他	2
4	泌尿器科内視鏡システム	オリンパスOEV191H-J	1
5	脳神経外科内視鏡セット	オリンパス工業 光学視管(A7500A)他	1式
6	脳外科用手術顕微鏡	OPMI CS-NC+NC2	1
7	尿管鏡	原田産業 M3テレスコープ 他	1
8	頭部固定装置(パデーハローリトラクター)		1
9	電動手術台(手術台テーブル)	マック・ジャパン 115Q. 15DO	1
10	電気手術装置システム	エルベ VIO300D	1
11	電気メス装置	エルボトムIGC350	1
12	電気メス	バリーラブ フォースFX 本体 他	3
13	超音波診断装置(外科)	SSA-240A	1
14	超音波凝固切開装置	ジョンソン・エンド・ジョンソンハーモニック スカルペルII 他	1
15	超音波画像診断装置	LOGIQ S8 GE	1
16	創外固定器システム		1
17	全身麻酔器	GE横河メディカル エスティバ7900	5
18	全身麻酔器	GEヘルスケア アバンスケアステーションPro	4
19	生体情報モニタ	オムロンコーリンソーラー8000I	12
20	セントラルモニタ	オムロンMP100D	1
21	心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス VIG2 他	2
22	手術用無菌水手洗装置	MRE-SR-3型, 2型	1
23	手術顕微鏡装置	カールツァイス	1
24	自動洗浄除染乾燥装置	エムエス WD-LS-76CS	1
25	自己血回収システム	セルセーバー5 CS-2005	2
26	耳鼻科用ドリルシステム	ジンマー オステオドリルシステム 50 38-001	1
27	耳鼻咽喉科用手術顕微鏡	ライカ M500-N-MS-1	1

	機器名称	規格	数量
28	子宮鏡セット	オリンパスヒステロスコープ HYF-XP他	1
29	高周波ラジオ波メス	エルマン・ジャパン サージマックス	1
30	血管内超音波診断装置	ポストン・サイエンティフィック ILAB100	1
31	結石破碎装置	コントロールユニットCH-1260Nyon	1
32	経皮的循環補助システム	テルモ キャピオックスEBS	1
33	経食道トランスジューサー	オムニプレーン2 21367A	1
34	患者監視装置	日本コーリン BP-508	2
35	外科用X線テレビ装置	日立メディコ SIRIUS Floating/C	1
36	外科用X線テレビジョン装置	OEC-9600	1
37	マイダレックスモーターシステム	ムラナカ	1
38	マイクロ波手術器	OT-110M	1
39	パリーラブフォースGSUユニット	米国パリーラブ社	1
40	ハーモニックスカルペル	ジョンソン&ジョンソン GEN04	1
41	ナビゲーターGPSシステム	タイコヘルスケア 097010 他	1
42	ナビゲーションシステム	メトロニック TERON plus システム	1
43	ドリルシステム	日本メトロニック マイダレックス・ ハイスピードドリル・レジェンド・システム	1
44	鏡視下脊椎手術セット	メトロニック METRx システム	1
45	イリゲーション付バイポーラセット	J&J CMC-3	1
46	CT定位脳手術装置	駒井式	1
47	電気手術装置	パリーラブ ForceTriad	6
48	超音波血流計	Medi-Stim社 トランジットタイム血流 計VQ4122	1
49	耳鼻科用シェーパードリルシステム	メトロ・ソファモアダネック C9800	1
50	喉頭観察鏡システム	オリンパス PortaView-LF	1
51	急速輸液加温システム	スミスメディカル レベル1システム/レ ベル1ホットライン	1
52	マイクロサージェリー手術台	瑞穂医科 最低位41cm以下	1
53	皮膚灌流圧測定器	カナカメディックス PAD3000	1
54	周術期患者情報システム	オムロンコーリン	1

	機器名称	規格	数量
55	外科用手術顕微鏡システム	ライカ他M525-MS3/MKC-507	1
56	電動マイクロドリル	ストライカーコアシステム	1
57	気道式ドリルシステム	エースクラップ他ハイランHSコンプリート スペック他	1
58	ラジオフリークエンシーシステム	スミスアンドネフュー他ValcanEASSystem他	1
59	外科用X線TV装置	東芝メディカルシステムズ	1
60	処置用ビデオスコープ	オリンパス ENF-VT2	1
61	腎盂/上下尿路観察鏡セット	オリンパス URF-V他	1
62	整形外科用ドリルシステム	ストライカー コードレスドライバー3	1
63	電気メス	東機貿 ベサリウスMCM	1
64	電気けいれん治療器	光電メディカル サイマトロン	1
65	電解質TUR+内尿道切開システム	オリンパス WA22367A 他	1
66	手術顕微鏡システム	ライカ OH4	1
67	脊椎内視鏡SPINAL ENDOSCOPESセット	カールストルツ spinal endoscopesセット	1
68	超音波吸引システム	オリンパス SONOSURG-G2	1
69	デュアルイメージングカラーモジュール	ライカ DIC500FL	1
70	開胸器(一般)	日本ストライカー システム7 胸骨鋸ハ ンドピース他	1
71	眼科用冷凍手術システム	キーラー・アンド・ワイナー クライオマ チック M-4100	1
72	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン VIVIDi	1
73	バッテリーハンドピース	日本ストライカー システム7 シングルトリ リガーロータリーハンドピース	1
74	下肢静脈瘤レーザー治療用超音波診断 装置	GEヘルスケアジャパン LOGIQe Exp ert	1
75	眼底観察システム	カールツァイス Resight 他	1
76	下肢静脈瘤レーザー治療器	インテグラル ELV6SLレーザー	1
77	移動型外科用X線撮影装置	GEヘルスケア・ジャパン OEC9900 Elite Standard-c 12inch	1
78	手術用治療機器	オリンパス Surgical Tissue Management	1
79	白内障・硝子体手術装置 内視鏡システム	日本アルコン コンステレーションビジョン システムLXT	1
80	眼科手術器具	ジアテルミーユニット	1
81	軟性尿管ビデオスコープ	オリンパス URF-V 他	1

	機器名称	規格	数量
82	手術用無影灯STERIS LED.2灯式	アムコ S27-0724 他	1
83	電解質溶液下レゼクトセット	オリンパス OTV-S7ProH-HD-10 9e D 他	1
84	手術用ナビゲーションシステム	ブレインラボ KICKナビゲーションシ テム	1
85	電動手術台	マッケジヤパン	1
86	汎用循環器X線診断装置	フィリップス Allura Xper FD20	1
87	心血管用X線診断装置	フィリップス ALLURA Xper FD10/10	1
88	大動脈内バルーンポンプ	エドワーズライフサイエンス CS-100	1
89	人工心肺装置 一式	スタックカート スタックカートS5	1
90	人工心肺操作記録支援システム	PC-CAPTAIN MTS910	1
91	人工心肺CDI500 一式	CV-500 他	2
92	麻酔時患者監視装置	日本光電BISモニターA-2000 他	7
93	混合血酸素飽和度監視システム	日本光電 INVOS4000 他	1
94	動脈圧心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス ビジレオモニター	1
95	超音波診断装置	GE横河メディカル VIVID I	1
96	人工呼吸器解析装置システム	大正医科 VT-PLUS	1
97	全自動血液ガス分析装置	ノバ・メディカル スタットプロファイルCCX1	1
98	経皮的循環補助システム	テルモ キャピオックスEBS他	1
99	Tec6 プラス 気化器	デスフルラン	1
100	TEC7 気化器	セボフルラン8%	4
101	オメガレギュレーター	MJ-1042	1
102	カート	ダイオニクス25用	1
103	クリーンタオルボックス	MS-2RS	4
104	コマンド2	2296-1 他	2
105	サンダーピート一式	TD-TB400/WB50402W 他	1
106	トラムラック	TR-400P	1
107	ストレッチャー	K726	2
108	ドップラー血流量計	710A	1

	機器名称	規格	数量
109	ネルコアオキシセンサープローブ	DS100A	10
110	バッテリーチャージャー	100V	4
111	パルスオキシメーター	N-600X	1
112	ヘモキシメータ	OSM3	1
113	ヘモクロンデジタル電子温度点検チューブ	HR1003	1
114	ペースメーカー	EDP 20/E	1
115	ホットキャビ	EK-104	1
116	ポータブルモニター	NPB-4000	1
117	マグナス手術台システム		1
118	マルチフローポンプ	JMS	1
119	ミストクリーン	MCM01	1
120	冷温水層	メラ	3
121	レーザー手術器	YAGレーザー IH102	1
122	二又アウトレット	MS2-OS	1
123	除細動器	ライフパック12	1
124	保冷库	MDF-137	1
125	保育器	アトム V-3600HL	1
126	光学視管12°	A22001A	1
127	光学視管70°	A22003A	1
128	全自動卓上型高圧蒸気滅菌器	SPA-220	1
129	内視鏡下鼻副鼻腔手術用カメラ		1
130	内視鏡用電動切除器具	MD0100	1
131	内視鏡用送水装置	ダイオニクスパワー	1
132	吸引器	RG-100	1
133	吸煙機システム	PPS604	1
134	小型吸引器	HAR-E-115-JP	1
135	心筋保護供給装置	MPS	1

	機器名称	規 格	数 量
136	患者加温装置	ウォームタッチ 501-5300A	5
137	手術台	マッケジャパン	3
138	手術台 移動型	マッケジャパン	6
139	手術台	ALPHAMAXX一式	1
140	整形外科用ドリルシステム		1
141	止血器	ATS750	1
142	歯科用ユニット	OPU-7	1
143	治療用電気手術器	RF-60	2
144	牽引ベッド	D-76437	6
145	神経刺激装置	NIMレスポンス	1
146	移動型診療用照明	CS03	1
147	経皮的循環補助システム	ギャピオックス 他	1
148	血液保冷库	MBR-107T 他	10
149	血液凝固計	ヘモクロン	1
150	製氷機	ホシザキ製氷機	1
151	超音波診断プローブ	GE	3
152	遠心ポンプ 付属品	手回しハンドル 他	1
153	酸素流量計	P-311MS	1
154	関節鏡視下術器具	LC9800	1
155	関節鏡		1
156	電動デルマトーム	00-8821-006-00	1
157	電動マイクロドリルシステム		1
158	電動式生体用洗浄機	GA530	1
159	電動式骨手術機器一式	ダイオニクスパワー他	1
160	電気手術器	VALCAN	1
161	電解質溶液下レゼクトセット	OTV-S7ProH-HD-108	1
162	高解像度モニタ	OEV191H	1

	機器名称	規 格	数量
163	CEDVモニター	VGSV	1
164	先端湾曲ビデオスコープ	LTE-S190-5	1
165	FCRシステム	富士コンピューテッドラジオグラフィ	1
166	FFPバック解凍器	FP-40	1
167	IC HAND MAGNET	HM-182	1
168	O2エアミキサー	LP-D	2
169	PAL-1システム	P-1	1
170	da Vinci Si	インテュイティブサージカル	1
171	エアシールインテリジェント	センチュリー AS-IFS1	1
172	耳鼻科手術用ナビゲーションシステム	日本メトロニック 973356D	1
173	全身麻酔器	GEヘルスケアジャパン アバンスCS2Pro	1
174	婦人科手術用HDカメラシステム	カールストルツ	1
175	ヘッドレストシステム	ユフ精機 LUNA スタンダードリトラクターシステムセット	1
176	腹腔・胸腔鏡用TVシステム	オリンパス OTV-S190	1
177	Q-SW ルビーレーザー	エムエムアンドニーク MODEL IB101	1
178	パーサパルスセレクト30w	ボストン・サイエンティフィックジャパン	1
179	無影灯	アコム STERIS vLED	1
180	モバイルCアームシステム	PHILIPS BV Vectra	1
181	無影灯	アコム STERIS LED	1
182	手術麻酔記録支援システムハードウェア	フクダコーリン CIS-OR	1
183	腹腔・胸腔鏡用TVシステム関連	オリンパス VISERA ELITEシステム	1

別紙 3-13 透析室

透析室

	機器名称	規格	数量
1	透析用監視装置	日機装 DCS-73	1
2	HDF監視装置	日機装 DCG-03	1
3	多用途透析監視装置	日機装 DCG-03	1
4	個人用透析装置	日機装 DBB-27	1
5	透析用監視装置	日機装 DCS-73	1
6	多人数用透析液供給装置	日機装 DAB-10E	1
7	個人用HDF装置	日機装 DBG-02, NRX-20PS付	1
8	逆浸透性精製水製造装置	東レ・メディカル TW-300HI	1
9	個人用逆浸透精製システム	ダイセン VCR-20P	1

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1. 共同利用の実績

1 機器の共同利用(平成30年度実績)	
CT:177件	PET-CT:143件 MRI:142件 骨塩:17件 骨シンチ:22件
上部内視鏡:58件	心エコー:35件 腹部エコー:41件 栄養相談:2件
医療機関延べ数	637施設
施設開設者と関係のない医療機関数	547施設
2 病床の共同利用	0件
3 図書室利用延べ人数	0人
4 研究室利用延べ人数	0人

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2. 共同利用の範囲等

1 共同利用の施設	別紙4-1-1~3
講堂、会議室、図書室、研究室、連携登録医室、駐車場	
2 共同利用の装置・機器	別紙4-2-1~5
コンピューター断層撮影装置(CT)、磁気共鳴診断装置(MR)、 超音波診断装置、SPECT装置(ガンマカメラ)、内視鏡検査装置、 栄養相談、単純エックス線撮影装置、PET-CT(陽電子放射断層撮影装置)	
3 共同利用の病床 6床	別紙4-3-1~3
11階 南病棟 1119号(4床のうち1床) 北病棟 1167号(4床のうち1床)	
13階 南病棟 1301号(4床のうち1床) 北病棟 1366号(4床のうち1床)	
14階 南病棟 1401号(4床のうち1床) 北病棟 1463号(4床のうち1床)	

(注) 当該病院の建物の全体若しくは一部、設備、機器又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3. 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有 無
- イ 利用医師等登録制度の担当者氏名 : 山村 信之
職 種 : 事務職員

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

(別紙4-4)

4. 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙4-5のとおり	366 病院			無

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	6床
--------------	----

平成30年度 高度医療機器共同利用

月/検査	CT	PET-CT	MRI	骨塩	骨シッチ	内視鏡	心エコー	腹部エコー	X-P	栄養相談	合計
4月	11	0	6	1	2	1	6	7	0	0	34
5月	9	11	20	2	2	4	2	4	0	0	54
6月	18	21	9	1	1	4	4	3	0	1	62
7月	14	8	11	1	0	8	5	4	0	0	51
8月	14	11	9	2	1	2	3	3	0	0	45
9月	11	4	11	0	2	9	1	3	0	0	41
10月	31	9	21	1	3	6	3	4	0	0	78
11月	13	7	15	0	1	9	3	5	0	0	53
12月	9	21	7	3	2	0	0	0	0	0	42
1月	6	14	5	1	2	3	2	4	0	1	38
2月	18	14	14	3	4	5	2	1	0	0	61
3月	23	23	14	2	2	7	4	3	0	0	78
合計	177	143	142	17	22	58	35	41	0	2	637

別紙 4-4

共同利用に関する規定について

川崎市立川崎病院施設等共同利用要綱	別添1
川崎市立川崎病院図書室院外利用者利用規定	別添2
川崎市立川崎病院共同利用病床運営要綱	別添3

川崎市立川崎病院施設等共同利用要綱

(目的)

第1条 この要綱は、川崎市立川崎病院（以下「病院」という。）の建物、設備、器械又は器具（以下「施設等」という。）を病院以外の医療従事者等が診療、研究、研修等のため共同利用し、もって地域医療連携の推進等を図るため、必要な事項を定めることを目的とする。

(共同利用に供する施設等)

第2条 共同利用に供する施設等は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 会議室、講堂、図書室、研究室、連携登録医室及び駐車場
- (2) 栄養相談室
- (3) 単純エックス線撮影装置、コンピューター断層撮影装置、磁気共鳴診断装置、超音波診断装置、内視鏡検査装置、SPECT装置（ガンマカメラ）、陽電子放射断層撮影装置
- (4) 病床6床
- (5) 前4号に掲げるもののほか、病院長が必要と認めた施設

2 前項第1号に規定する研究室及び連携登録医室の利用については、連携登録医による利用を優先する。

(医療従事者等の範囲)

第3条 施設等を利用できる者の範囲は、病院に勤務しない医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他医療従事者等で、病院長がその利用を適当と認めた者とする。

(共同利用の申し込み)

第4条 施設等を利用しようとするときは、原則として、事前に病院の患者総合サポートセンターに申し出て、病院長の承認を得るものとする。この場合において第2条第2号に掲げる施設等の利用にあたっては、各所属長の確認を得るものとする。

(庶務)

第5条 施設等の共同利用に関する庶務は、患者総合サポートセンターが処理する。

(その他)

第6条 施設等の共同利用について、他に定めのある施設等については、その定めによるものとする。

2 その他、共同利用について必要な事項は、地域医療支援病院運営委員会に諮るものとする。

附 則

この要綱は、平成27年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

川崎市立川崎病院図書室院外利用者利用規定

(趣旨)

第1条 川崎市立川崎病院図書室（以下図書室という。）は、地域医療機関との病診連携の円滑な推進を図る一助とするために、図書室の蔵書資料等の利用を提供する。このことにより地域医療に貢献することを目的とする。

(利用対象者)

第2条 図書室を利用することができる院外利用者は、次に掲げる者とする。

- (1) 院外の川崎市職員
- (2) 当病院の連携登録医
- (3) 川崎市医師会、川崎市歯科医師会、川崎市薬剤師会、川崎市看護協会、川崎市病院協会等に所属する地域の医療機関の登録医師及び医療従事者（前号に掲げる者を除く。）
- (4) 病院長が許可した者

(利用方法)

第3条 図書室を利用しようとする者（以下「利用者」という。）は、病院・医院・診療所名、住所、利用者氏名、電話番号、FAX番号、メールアドレス等を図書室に登録するものとする。

- 2 利用者は、来院前に図書室に利用申し込みをするものとする。
- 3 利用者は、図書室の利用に際して、「院外利用者図書室利用書」に必要事項を記入するものとする。
- 4 前3項及び第7条の規定にかかわらず、連携登録医が図書室を利用しようとする場合は、患者総合サポートセンターを通じて利用の申込みを行うものとし、利用者登録等の手続を省略するものとする。

(利用時間等)

第4条 図書室の利用時間及び休室日は、次のとおりとする。

(1) 利用時間

午前10時から午後5時までとする。ただし、連携登録医にあっては、患者総合サポートセンターと調整のうえ、必要に応じて時間外の利用を認めるものとする。

(2) 休室日

土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日並びに病院長が特に必要と認めた日。

(閲覧、貸出等)

第5条 図書室内の単行書、雑誌等は自由に閲覧できるものとする。ただし、院外貸出は行わないものとする。

(複写利用及び他機関への文献複写依頼)

第6条 図書室が所蔵している単行書、雑誌の複写利用を可能とする。この場合において複写料金実費として1枚あたり8円を徴収する。なお、同一文献からの大量複写については、著作権保護の観点から制限するものとする。

- 2 図書室に所蔵がない文献は、他機関へ文献複写を依頼することができる。ただし、書誌事項が明記されている文献のみ申し込みを受け付けるものとする。この場合において、複写利用に要した経費（複写料金、送料、振り込み料、手数料）は実費とする。

（検索データベースの利用）

第7条 医学中央雑誌Web版、up To Date等検索データベースを利用しようとするときは、図書室に事前に申し込みをするものとする。

平成 16年 6月 14日

平成 22年 12月 17日 改定

平成 27年 11月 1日 改定

平成 30年 4月 1日 改定

川崎市立川崎病院共同利用病床運営要綱

(目的)

第1条 この要綱は、川崎市立川崎病院（以下「病院」という。）の病床を、地域医療機関からの共同利用の申し入れにより、適切かつ速やかに利用できるように必要な事項を定めることを目的とする。

(共同利用の内容)

第2条 病床の共同利用に関する要件は、原則として次に掲げるとおりとする。

- (1) 病院の連携登録医からの依頼に基づくものであること。
- (2) 急性期医療を必要とする患者であって、病院の診療科での診療が可能な患者であること。
- (3) 連携登録医と病院の医師が協力して診療にあたるものであること。
- (4) 共同利用の時間は、平日の午前8時30分から午後5時までとする。

(共同利用病床)

第3条 共同利用に供する病床は、次に掲げる6床とする。

- (1) 11階南病棟1119号室（4床のうち1床）
- (2) 11階北病棟1167号室（4床のうち1床）
- (3) 13階南病棟1301号室（4床のうち1床）
- (4) 13階北病棟1366号室（4床のうち1床）
- (5) 14階南病棟1401号室（4床のうち1床）
- (6) 14階北病棟1463号室（4床のうち1床）

(共同利用の申込手続き等)

第4条 病床の共同利用を行う際の手続きは、次に掲げるとおりとする。

- (1) 連携登録医は、共同利用病床利用申込書及び診療情報提供書並びにその他必要と認められる書類等を病院の患者総合サポートセンターに提出するものとする。
- (2) 患者総合サポートセンターは、前号の申込書等の提出を受けたときは、速やかに診療科と入院日程等の調整を行い、その結果を連携登録医に連絡するものとする。
- (3) 前号の調整後、病院の医師は、入院申し込みに係わる電子カルテ入力を行うものとする。

(その他)

第5条 その他共同利用病床について必要な事項は、患者総合サポートセンターが関係部署と協議のうえ、地域医療支援病院運営委員会に諮るものとする。

附 則

この要綱は、平成27年12月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

共同利用病床利用申込書

(あて先)川崎市立川崎病院長

連携登録医 医療機関名

氏名

電話番号

次の患者については、私と川崎市立川崎病院の医師が協力して診療(共同診療)にあたりたいので、川崎市立川崎病院共同利用病床運営要綱第4条第1項の規定に基づき、共同利用病床の利用を申し込みます。

フリガナ		男
患者氏名		女
生年月日	年 月 日	歳
住所	〒	
希望診療科		
共同診療の目的・理由等		

- ※ 共同利用病床の利用を希望される場合は、川崎病院の連携登録医に登録してください。
- ※ 共同利用病床の利用には、別途費用(開放型病院共同指導料(I)等)が必要になりますので、事前に、患者宛説明をお願いします(「承諾書」等を徴し、貴院にて保管してください)。
- ※ この申込書は、診療情報提供書と併せて川崎病院患者総合サポートセンター宛提出してください。

(承諾書の例)

共同利用病床利用承諾書

(あて先) 連携登録医

医療機関の名称

氏名

私が川崎市立川崎病院に入院するにあたり、同病院の共同利用病床を利用することを承諾します。

年 月 日

本人署名 (自著)

生年月日 年 月 日

家族 (代諾者) 署名

医療機関名(医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
鈴木医院	川崎区田町1-6-15	内科・小児・放射線	無
きりやま眼科	川崎区駅前本町5-2大星川崎ビル7F	眼科	無
川崎駅前クリニック	川崎区駅前本町12-1川崎駅前タワーリパーク6F	内科	無
上里整形外科	川崎区渡田向町23-3	整形・リハ	無
平安医院	川崎区藤崎4-19-15	外・内・消内	無
松田内科医院	川崎区堀之内10-24	内科・消内・循内	無
菅野皮膚科	川崎区京町1-9-11大森ビル2F	皮膚科	無
相澤整形外科	川崎区昭和1-2-12	整形・リハ	無
青山クリニック	川崎区伊勢町25-3	内科・小児科	無
ニウかんクリニック	川崎区綱管通1-2-3	内科・消内	無
河部医院	川崎区貝塚1-9-10	内・外・呼内・アレ・循内	無
門前外科医院	川崎区東門前1-14-4	外科・消内・肛・泌・皮	無
東扇島診療所	川崎区東扇島78福利厚生センタービル2F	内・呼内・アレ	無
飯塚医院	川崎区京町2-14-2	内・呼内	無
池上クリニック	川崎区浅田3-7-15	精神科	無
みずほ眼科	川崎区小田4-39-5	眼科	無
いしいクリニック乳腺外科	川崎区砂子2-6-2三恵ビル10F 3号室	外科・乳腺	無
いしい医院	川崎区桜本2-4-9	内・外・消内	無
稲葉医院	川崎区砂子1-5-22	消内・外・整形・皮・泌	無
かわさき診療所	川崎区砂子2-6-2三恵ビル10F	精神・心内	無
はらだ眼科	川崎区渡田向町22-5	眼科	無
入江医院	川崎区砂子2-6-2三恵ビル3F	内科・婦人科	無
うすい整形外科医院	川崎区砂子2-2-10第2園ビル	整形・リハ	無
総合新川橋病院	川崎区新川橋1-15	眼科	無
川崎駅前眼科プラムアイクリニック	川崎区区進町1 目航ビル3F	眼科	無
大江医院	川崎区川中島1-13-2	産婦人科	無
太田総合病院	川崎区区進町1-50	耳鼻咽喉科	無
大塚眼科クリニック	川崎区駅前本町12-1川崎駅前タワーリパーク7F	眼科	無
日本鋼管病院	川崎区綱管通1-2-1	放射線	無
小口眼科	川崎区大肺駅前1-5-5ワイケイズビル201	眼科	無
おさふね耳鼻咽喉科	川崎区川中島1-12-11	耳鼻咽喉科	無

医療機関名(医院)	住所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
元木町眼科・内科	川崎区渡田新町2-1-1	眼科・内科	無
第一病院	川崎区元木2-7-2	救急・脳神経外科	無
かめだこどもクリニック	川崎区池田2-4-5	小児科	無
ナビタスクリニック川崎	川崎区駅前本町26-1アトレ川崎3F	小児	無
菊地外科内科クリニック	川崎区小田5-5-1	脳外・小・外・整・内	無
なかじまクリニック	川崎区中島3-9-9	循環・呼内・透析・内	無
富士見整形外科医院	川崎区中島1-1-1	整形・理学療法	無
熊谷医院	川崎区小田5-28-15	内・小児・耳鼻咽喉科	無
京町診療所	川崎区京町2-15-6神和ビル	内・呼内・小児・アレ	無
京町クリニック	川崎区京町1-9-11	内・循内	無
黒坂医院	川崎区京町2-8-17	循環・内・呼内・消内・心内	無
協同ふじさきクリニック	川崎区藤崎4-21-2	内科・循内	無
高良医院	川崎区大島3-15-17	内科・小児科	無
後藤医院	川崎区昭和2-15-16	内科・整形・リハ	無
さくら中央クリニック	川崎区大師本町9-11	内科・呼内・循内・皮・ア・小児	無
ささきクリニック	川崎区池田1-6-3	内科・循内・消内	無
佐藤クリニック	川崎区池田2-4-17	性病・皮・アレ	無
川崎クリニック	川崎区日進町7-1川崎日進町ビルディング6・7・8F	眼科	無
柴田医院	川崎区浅田3-10-12	内科・消内	無
大師診療所	川崎区大師町6-8	内科・消内	無
川崎すずき内科クリニック	川崎区貝塚1-13-4イスビル3F	糖尿・内科	無
デルマクリニック寺前	川崎区大師町13-9	皮膚科	無
川崎七福診療所	川崎区小田1-1-27ルティス京町ビル4F	内・消内・呼内・循内	無
日本冶金工業株式会社 川崎製造所診療所	川崎区小島町4-2	内科	無
高野眼科医院	川崎区砂子2-6-2三恵ビル3F	眼科	無
川崎メンタルクリニック	川崎区小川町2-3川崎アオビル第10-4F	精神科・心内	無
高橋眼科医院	川崎区昭和1-2-9	眼科	無
竹内クリニック	川崎区京町2-24 4セゾン川崎京町ワライス111	内科・小児科	無
昭和医院	川崎区出来野7-20	内科・小児科	無
川崎協成病院	川崎区桜本2-1-5	循環・内・呼内・消内・心内	無
西辺医院	川崎区大島上町1-10	内科・放射線	無

医療機関名(医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
川崎市南部地域療育センター	川崎区中島3-3-1		無
川崎徳診クリニック	川崎区駅前本町10-5クリエ川崎7・8F		無
辻眼科クリニック	川崎区渡田向町29-11アソルティ渡田向町1,2F	眼科	無
港町つばさクリニック	川崎区港町5-2-104	内科	無
富士電機株式会社 川崎工場診療所	川崎区日辺新田1-1	内科	無
港町こどもクリニック	川崎区港町5-2-103	小児	無
川崎沼田クリニック	川崎区砂子2-11-20加瀬ビル133 402号室	精神科	無
野末整形外科歯科内科	川崎区小田5-1-3	整形・リハ・内・消内	無
野田医院小児科内科眼科	川崎区藤崎1-1-3	眼科・内科・小児	無
はた内科胃腸科クリニック	川崎区渡田向町15-2	内科・消内	無
畑医院	川崎区宮前町5-1	内科・糖尿・小児	無
花田内科胃腸科医院	川崎区大島4-16-1	内・消内	無
月岡医院	川崎区小川町15-7	耳鼻咽喉科	無
夏木クリニック	川崎区砂子2-11-20大幸ビル4F	内科・小児・婦人・皮	無
馬嶋病院	川崎区日進町24-15	内科・整形外科・リハビリテーション科	無
増田耳鼻咽喉科	川崎区京町1-9-11大森ビル2F	耳鼻咽喉科	無
三島クリニック	川崎区駅前本町5-2大星川崎ビル6F	内科・消内・皮・形成	無
川崎大師みずの耳鼻咽喉科	川崎区大師駅前1-6-17パークホームズ川崎大師表参道102	耳鼻咽喉科	無
宮川病院	川崎区大師駅前2-13-13	内・消内	無
内科小児科宮崎医院	川崎区池田2-7-4	内科・小児科・神内	無
村上外科医院	川崎区大島1-5-14	内・消内・小児・外・整形・皮	無
水江診療所	川崎区水江町6-21	整形	無
河山整形外科	川崎区大師駅前1-6-17パークホームズ川崎大師表参道2F	整形・リハ	無
望月皮膚科医院	川崎区小田1-9-23	皮膚科	無
望月耳鼻咽喉科医院	川崎区小田1-9-23	耳鼻咽喉科	無
森田クリニック	川崎区大島5-10-5	内・外・呼内・アレ	無
森田皮膚科クリニック	川崎区大島5-10-5	皮・アレ	無
森村眼科クリニック	川崎区駅前本町26-1川崎アトレ8F	眼科	無
AOI国際病院	川崎区日町2-9-1	消外・外・肛・乳・消内・内	無
安岡クリニック	川崎区砂子2-6-2三恵ビル7F	泌尿器・性・皮・放射線・形成	無
安士医院	川崎区浜町1-22-6	内科・消内・外・肛	無

医療機関名(医院)	住所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
棚田診療所	川崎区中島1-13-3	内・神経	無
山下整形外科	川崎区追分町5-2 青木薬山堂ビル2F	整形・リハ	無
由井クリニック	川崎区貝塚2-4-19	内・循内・皮	無
第一クリニック	川崎区渡田新町2-3-5	脳神経外科・整形	無
ヨシムラ耳鼻咽喉科医院	川崎区浜町1-7-6	耳鼻咽喉科・アレ	無
和田内科医院	川崎区東門前3-1-6	内科・小児科	無
渡辺外科内科医院	川崎区大島2-17-16	整形・外・内・皮・消内	無
総合川崎臨港病院	川崎区中島3-13-1	内科・消内	無
悠翔会在宅クリニック川崎	川崎区浜町4-6-19	総合診療科・内・外・精神・皮	無
かねこ整形外科	川崎区小田1-1-2	整形	無
川崎大倉いしまる内科クリニック	川崎区観音2-10-8 第3忠ぶねビル1F	内・循内	無
川崎市保健所川崎支所	川崎区東田町8番地	内科・小児科	無
川崎本町眼科クリニック	川崎区駅前本町26-2-3004	眼科	無
ベイククリニック	川崎区本町1-8-2トラストビル3階	内・精神・整形	無
あべクリニック	川崎区駅前本町4-7堀栄ビル3F	内科・消化器内科・内視鏡内科・大腸・肛門外科	無
いしぐろ耳鼻科	川崎区池田1丁目6-3八丁綴クリニックファーム3F	耳鼻咽喉科	無
かわさきデイクアクリニック	川崎区南町1-6林ビル川崎1F	精神科・心療内科	無
川崎おおつか内科・消化器内科	川崎区砂子2-6-2 川崎三恵ビル4階	内科・消化器内科・内視鏡内科	無
キノメディッククリニック川崎	川崎区藤崎3-6-1	内科・外科	無
ナカオカクリニック	幸区下平間38	内呼内循内消内外	無
森田医院	幸区南幸町3-14	内消内リウ小	無
植村内科医院	幸区戸手本町1-44-5	内循内小皮	無
パークシティクリニック	幸区小倉1-1 パークシティ新川崎クリニック棟217	内消内小外肛放	無
たつのこどもクリニック	幸区下平間359 レオナV	小ア	無
青木整形外科	幸区幸町4-18	整	無
新川崎眼科	幸区新川崎5-2 シンカモール3F	眼	無
浅井眼科医院	幸区南加瀬3-3-27	眼	無
さいわい庭島田クリニック	幸区新塚越201 ルリエ新川崎	内腎	無
三駒クリニック	幸区南加瀬4-27-6	肛消内皮外整リハ	無
石永医院	幸区下平間130	内循内	無
川崎南部在宅診療所	幸区南加瀬2-8-15 1F-B		無

医療機関名(医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
大野クリニック	幸区堀川町580 ソリッドスクエア西館2F	精心内内	無
大山耳鼻咽喉科診療所	幸区南幸町2-25	耳ア	無
おさないクリニック	幸区南幸町2-80 KS紅屋ビル4F	泌尿	無
松原医院	幸区小倉3-23-4	内循環内消内	無
小倉かとう内科	幸区小倉5-19-23 クロスガーデン川崎2F	内消内糖	無
鎌田医院	幸区南加瀬4-30-2	循環内	無
木村整形外科	幸区小倉1-3-14	整リハ	無
くちかた整形外科	幸区新塚越201 ルリエ新川崎3F	整リウリハ	無
黒瀬クリニック	幸区神明町2-1-1	内呼内消内	無
小泉クリニック	幸区神明町2-9-5	精麻ペ	無
川崎リウマチ・内科クリニック	幸区大宮町1310 ミューザ川崎222区画	内ア リウ	無
眼科小倉倉医院	幸区下平間144	眼	無
小林クリニック	幸区南幸町2-80	内科、循環器内科、消化器内科	無
小林内科医院	幸区紺屋町39	内	無
新川崎こびきウィメンズクリニック	幸区鹿島田1-8-33 はとりビル2F	婦	無
こんどうレディース診療所	幸区大宮町2-8 イクス川崎ザ・タワー1-A	婦内産	無
かい小児科・内科・耳鼻咽喉科医院	幸区南加瀬3-25-1	耳内小	無
佐々木内科クリニック	幸区小向町3-21	内 小	無
三菱ふそうトラック・バス株式会社診療所	幸区中原区大倉町10	内	無
三條医院	幸区幸町2-697	内消内小	無
新川崎耳鼻咽喉科医院	幸区鹿島田2-24-11	耳	無
川崎幸クリニック	幸区南幸町1-27-1	内	無
周藤眼科クリニック	幸区河原町1-15-103	眼	無
千葉内科クリニック	幸区下平間359 レオナV201	内循環内	無
関クリニック	幸区幸町3-7	内呼内消内外	無
関口医院	幸区古市場1-21	内皮小外	無
高取内科医院	幸区矢上13-6	内消内小	無
高野アイクリニック	幸区古市場1-47 ケイワンビル1F	眼	無
高橋クリニック	幸区北加瀬2-7-20	内小皮	無
メディ在宅クリニック	幸区矢上2-7		無
たくま幸クリニック	幸区小倉3-28-12 シャリオ佐野1F	内糖小循環	無

医療機関名(医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
たけお眼科	幸区鹿島田1-1-3 新川崎スクエア3F	眼	無
いきいきクリニック	幸区南幸町2-34-2 川崎クリスチャンセンター1F	呼内内	無
田中小児科医院	幸区塚越2-217	小	無
パークシティ眼科	幸区小倉1-1 パークシティ新川崎クリニック棟220	眼	無
株式会社 東芝小向工場 小向地区健康支援センター	幸区小向東芝町1	整	無
ステラクリニック	幸区鹿島田1-8-33 はとりビル1F	精神内	無
栗田病院	幸区小倉2-30-13	精	無
川崎セツルメント診療所	幸区古市場2-67	内	無
中林眼科医院	幸区大宮町15-4 松下ビル1F	眼	無
中村クリニック泌尿器科	幸区大宮町1310 ミューザ川崎227	泌尿	無
中村整形外科	幸区古市場1-21	整リハ	無
南武医院	幸区下平間205	内	無
あいホームケアクリニック	幸区都町37-10	循内	無
かい小児科・内科・耳鼻咽喉科医院	幸区南加瀬3-25-1	内小	無
橋爪医院	幸区戸手2-3-12	内循内消内	無
はとりクリニック	幸区鹿島田1-8-33 はとりビル3F	内呼内循内消内	無
介護老人保健施設千の風・川崎	幸区小向町15-25		無
藤岡耳鼻咽喉科医院	幸区下平間111	耳鼻	無
藤田医院	幸区南幸町2-21 ウィステリア西口1F	整内皮アリリハ放府	無
ふるしよクリニック	幸区大宮町12-7 TMビルII 1F	精神内	無
本田眼科医院	幸区南加瀬2-5-8	眼	無
パークシティ皮膚科・泌尿器科	幸区小倉1-1 パークシティ新川崎クリニック棟211	皮膚ア	無
けいクリニック	幸区南幸町3-104 中川ビル3F	精神・心療内科	無
ましも内科循環器科	幸区南幸町2-26-12 2-21 ウィステリア西口2F	内循内皮	無
川崎中央クリニック	幸区神明町2-68-7	脳外内神内外整	無
まつくら整形外科	幸区南幸町2-21-7	整リハ	無
まつの内科クリニック	幸区新川崎5-2 シンカモール3F	内糖	無
松葉医院	幸区塚越2-159	内循内消内	無
松本眼科医院	幸区大宮町20	眼	無
まつやまクリニック	幸区下平間341 レオナIII 2F	泌尿皮	無
松山整形外科	幸区下平間341 レオナIII 1F	整リリハ麻	無

医療機関名(医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
ゆりこどもクリニック	幸区新塚越201 ルリエ新川崎5F	小	無
みやや内科診療所	幸区古川町120	内・循内	無
やぎ耳鼻咽喉科・アレルギークリニック	幸区大宮町6-4 TMビル2F	耳ア	無
矢野内科医院	幸区塚越4-314-2	内・糖放	無
山田小児科医院	幸区塚越1-121	小内・消内	無
りえ皮膚科クリニック	幸区新塚越201 ルリエ新川崎5F	皮ア	無
さいわい整形外科	幸区戸手1-2-1 みゆきコーポラス1F	整リハ	無
ゆいクリニック	幸区0	小内皮	無
横山クリニック	幸区大宮町14-4 尊昌ビル4F	内・消内・外皮	無
鹿島田病院	幸区鹿島田1-21-20	内・外	無
よしかわ耳鼻咽喉科	幸区新塚越201 ルリエ新川崎3F	耳	無
よしかわ耳鼻咽喉科	幸区新塚越201 ルリエ新川崎3F	眼	無
米田医院	幸区中幸町3-13	内・外	無
田村外科病院	幸区戸手1-9-13	外・整リハ	無
新川崎ひたち整形外科	幸区新川崎5-2シンカモール3F	整	無
ミュージア川崎こどもクリニック	幸区大宮町1310	小、小皮、皮、アレ	無
川崎市保健所幸支所	幸区戸手本町1-11-1	内小	無
かもち整形外科クリニック	幸区小倉5-19-23-211	整リハ	無
新川崎むらせ内科循環器内科	幸区北加瀬2-11-3	内、循内	無
新川崎ふたばクリニック小児科皮膚科	幸区鹿島田1-4-3 1階	小児科、皮膚科、アレルギー科、内科	無
タカタ糖尿病・内科クリニック	幸区大宮町12-7 TMEビルII 201	糖尿病内科、内分泌内科、内科	無
蒔地眼科クリニック	幸区下平間152-3	眼科	無
川崎たにぐち皮膚科	幸区大宮町3-6 コ・オリーナ・ビル3階	皮膚科	無
川崎西口心療クリニック	幸区中幸町4丁目42番金子ビル3階	精神科	無
のなみクリニック	中原区小杉町1-547-83	一般内科	無
はぐくみ母子クリニック	中原区下小田中3-33-8	産婦人科、小児科	無
長谷川診療所	中原区小杉町3-252朝日バリオ武蔵小杉102	精神科・心療内科	無
さかい医院	中原区今井南町9-34	内科・循環器科	無
新丸子皮膚科・アレルギー科クリニック	中原区新丸子町748	皮膚科	無
おぼな内科クリニック	中原区上新坂2-4-8	内科・糖尿病内科	無
山窩クリニック	中原区下小田中2-33-39	内・消内・外・リハ	無

医療機関名(医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
宇藤内科医院	中原区荻宿24-37	内・小	無
やまと診療所武蔵小杉	中原区下沼部1760 カインド玉川101	内科・外科	無
わかば子供クリニック	中原区西加瀬17-8	小・アレルギー	無
メンタルクリニックエルデ	中原区小杉町3-428小杉山協ビル3階	精神科・心療内科	無
在宅テラス診療所なかはら	中原区下小田中3-16-5-1F	内科	無
竜谷内科クリニック	中原区中丸子361	一般内科・消化器内科	無
なかはら内科クリニック	中原区下小田中3-30-3	内科、糖尿病代謝内科、循環器内科	無
川崎中原クリニック	中原区西加瀬17-8	内科、老年内科	無
中橋メディカルクリニック	中原区北谷町51-9	胃腸科、消化器内科、内科	無
武蔵中原まちいクリニック	中原区上小田中6-23-10 小川ビル1階	内科、神経内科、リハビリテーション科	無
池田整形外科	中原区上小田中3-23-34 メディ中原ビル1階	整形外科、リハビリテーション科	無

医療機関名(歯科医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
安部歯科医院	川崎区浅田2-14-18	歯科一般	無
阿保歯科医院	川崎区東門前1-14-4	歯科・小児歯科	無
安藤歯科医院	川崎区渡田2-1-1	一般歯科・小児歯科	無
いしかわ矯正歯科	川崎区東田町5-3 ホンマビル2F	矯正歯科	無
かずみ歯科医院	川崎区京町2-7-10 シヤトレアオキ101	歯科	無
磯野歯科医院	川崎区砂子1-4-5	一般歯科	無
井田歯科医院	川崎区砂子1-7-3	歯科・小児歯科	無
市川歯科医院	川崎区大島5-12-5	一般歯科・小児歯科・矯正歯科	無
イナキ歯科医院	川崎区本町1-3-5 イナキビル2F	一般歯科・小児歯科	無
伊野歯科医院	川崎区東田町4-5-2F	歯科	無
いまい歯科	川崎区台町25-4	歯科・小児歯科	無
小友歯科医院	川崎区渡田3-19-12	歯科	無
上原歯科医院	川崎区大島5-13-20	一般歯科	無
新川橋クリニック 歯科	川崎区新川通2-1	歯科	無
大塚歯科クリニック	川崎区宮本町6-3 小菅ビル2・3F	歯科	無
及川歯科医院	川崎区昭和2-9-20	歯科・小児歯科・歯科口腔外科	無
勝又歯科医院	川崎区渡田2-12-7	歯科	無
金井歯科医院	川崎区砂子1-2-12	歯科	無
富士歯科医院	川崎区小田2-5-13	歯科一般	無
神谷デンタルクリニック 大島	川崎区追分6-11	歯科・口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
野末整形外科歯科内科	川崎区小田5-1-3	整形外科・歯科・内科	無
北山歯科クリニック	川崎区大島上町1-6 ウエストフラット101	歯科・小児歯科	無
木村歯科クリニック	川崎区藤崎3-9-2	一般歯科	無
久保歯科医院	川崎区小田2-17-30		無
くわばら歯科医院	川崎区渡田新町3-14-3	一般歯科	無
小泉歯科医院	川崎区観音1-2-9	一般歯科・小児歯科・矯正歯科	無
神谷デンタルクリニック 中島院	川崎区中島1-12-3	歯科	無

医療機関名(歯科医院)	住所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
小林歯科医院	川崎区大島上町19-8	一般歯科	無
宮原歯科医院	川崎区旭町2-7-9	歯科	無
こみやま歯科	川崎区砂子2-2-2		無
斎藤歯科医院	川崎区昭和1-3-7	歯科	無
佐々木歯科医院	川崎区榎本2-17-21	歯科	無
佐藤歯科	川崎区駅前本町1-2 鈴庄ビル6F	歯科	無
志田歯科医院	川崎区大師駅前1-16-7-1F	歯科	無
かんのん歯科医院	川崎区観音2-9-3	歯科・小児歯科	無
関口歯科医院	川崎区東田町8 パレール311	歯科	無
川崎スマート矯正歯科	川崎区駅前本町26-4 ラウンドクロス川崎5F	矯正歯科	無
高柴歯科	川崎区渡田1-1-2 リビエール石川2F	歯科・小児歯科・矯正歯科	無
高松歯科医院	川崎区東門前2-1-11	一般歯科・小児歯科・口腔外科	無
武宮歯科医院	川崎区藤崎4-4-8	一般歯科・小児歯科	無
ハローデンタルクリニック	川崎区小田栄2-2-1 イトヨーカドー川崎店2F	歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科	無
田中歯科クリニック	川崎区砂子2-11-20 加瀬ビル133-3F		無
田中デンタルクリニック	川崎区堤根39-1	一般歯科	無
田村歯科医院	川崎区東門前1-17-1クリエイトビル川崎大師101	歯科・小児歯科・口腔外科	無
リパーク歯科	川崎区駅前本町12-1 タワーリパーク2F	歯科	無
徳丸歯科医院	川崎区小田6-5-7	一般歯科・口腔外科・小児歯科	無
中川歯科医院	川崎区渡田新町2-5-4	一般歯科・小児歯科	無
みなとまち歯科	川崎区港町12-1イトヨーカドー川崎港町店2F		無
なかの歯科	川崎区東田町11-1-103	歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科	無
中村歯科医院	川崎区新川通11-14 中村ビル1F	歯科	無
根津矯正歯科クリニック	川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワーリパーク5F	矯正歯科	無
ノグチ歯科医院	川崎区下並木71	歯科	無
田島歯科クリニック	川崎区鋼管通2-11-1	歯科一般・小児歯科	無
ひるまデンタルクリニック	川崎区南町18-18	歯科・小児歯科・口腔外科	無

医療機関名(歯科医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
ひやま歯科クリニック	川崎区昭和2-9-7フォルゴレ川崎101	歯科・小児歯科・口腔外科	無
パール歯科医院	川崎区田町2-13-1	歯科・小児歯科・矯正歯科	無
堀歯科医院	川崎区京町1-10-9	歯科一般・矯正歯科・審美歯科	無
セゾール歯科医院	川崎区京町2-24-4-112	歯科	無
本間歯科医院	川崎区大師駅前1-7-11	歯科	無
松本歯科医院	川崎区元木2-7-1	歯科	無
宮田デンタル・オフィス	川崎区池田1-2-16-207	歯科	無
幸田歯科医院	川崎区駅前本町26-1 アトレ川崎8F	歯科一般・口腔外科・小児歯科	無
大久保歯科医院	川崎区南町3-3	歯科一般	無
望月歯科医院	川崎区小田1-9-3	歯科	無
森田歯科医院	川崎区砂子1-1-1追川ビル2F	歯科一般	無
矢吹歯科	川崎区大師駅前1-2-7	歯科	無
もとき歯科医院	川崎区元木1-2-7	歯科	無
横島歯科医院	川崎区京町1-9-5	歯科	無
三愛歯科医院	川崎区東門前3-4-1	歯科口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
わたなべ歯科クリニック	川崎区小川町15-13 ランドコム川崎1F	一般歯科	無
わたなべ歯科医院	川崎区大師駅前1-6-7	歯科	無
小島新田ファミリー歯科	川崎区田町2-4-13	歯科、小児、口腔外科、矯正歯科	無
新町歯科医院	川崎区渡田新町1-12-4	一般歯科、小児歯科	無
久保木歯科医院	川崎区小田4-36-12	一般歯科、口腔外科、小児歯科、歯列矯正	無
ぶどうのえた歯科医院	川崎区富士見1-6-15-101 コンフォール川崎富士見	一般歯科、小児歯科、矯正歯科	無
高野歯科医院	川崎区渡田1-9-2	歯科、小児歯科、口腔外科	無
美加デンタルクリニック	川崎区砂子1-1-14 JTB川崎共同ビル4F	一般歯科、口腔外科	無
山縣歯科医院	川崎区駅前本町11-1 パシフィックマークス川崎6階	歯科	無
加藤歯科医院	幸区小向町1-10	歯科・小児歯科	無
井田歯科クリニック	幸区南加瀬5-16-7	歯科	無
サンライズ歯科クリニック	幸区大宮町1310ミューザ川崎区画番号226	歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科	無

医療機関名(歯科医院)	住所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
大塩歯科医院	幸区古市場2-104	歯科・小児歯科	無
おおもち歯科医院	幸区南加瀬2-33-15	一般歯科・小児歯科	無
落合歯科医院	幸区下平間204 倉田ビル2F	歯科	無
小俣歯科医院	幸区小倉2-25-6	歯科・小児歯科・口腔外科	無
タカミ歯科	幸区南加瀬3-7-32	一般歯科・小児歯科・矯正歯科	無
たから歯科クリニック	幸区下平間205-2-1F	歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科	無
愛仁歯科医院	幸区中幸町4-7 ルミナスビル1F	歯科	無
紺野歯科医院	幸区下平間111-20 成川ビル2F	歯科	無
シオヤ歯科	幸区南幸町3-101 尻手幸ビル2F	歯科	無
プラス歯科クリニック	幸区南加瀬4-30-5 三浦ビル2F		無
清水歯科医院	幸区小倉3-30-22	歯科・小児歯科・口腔外科	無
須貝歯科医院	幸区南幸町2-8-101	歯科	無
岡部歯科医院	幸区南加瀬4-18-22	一般歯科	無
竹内歯科医院	幸区神明町1-6-6	歯科	無
下平間歯科クリニック	幸区下平間214-1-1-103	歯科・口腔外科・小児歯科	無
中島歯科医院	幸区塚越4-333	一般歯科・小児歯科・歯科口腔外科	無
名取歯科	幸区中幸町4-35-4 大井ビル1階	一般歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科	無
伴場歯科医院	幸区小向西町4-145	歯科・小児歯科・矯正歯科	無
ひげうち歯科医院	幸区北加瀬1-17-2	歯科・小児歯科・障害者歯科	無
日高歯科クリニック	幸区新塚越201ルリエ新川崎3F	歯科・口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
ますもと歯科医院	幸区南幸町2-80 KS紅屋ビル1F	歯科・小児歯科・矯正歯科	無
かわさきノエル矯正歯科	幸区大宮町5 太尾ビル4F	矯正歯科	無
松村歯科	幸区下平間223		無
宮坂歯科医院	幸区鹿島田1-7-20	一般歯科・小児歯科	無
村田歯科医院	幸区中幸町4-50 布施ビル2F	歯科一般・矯正歯科	無
塚越歯科医院	幸区塚越2-159	歯科	無
安原歯科医院	幸区北加瀬1-8-5-102		無

医療機関名(歯科医院)	住所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
矢野歯科医院	幸区塚越4-333-93	歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科	無
えんどう歯科医院	幸区古市場1-29 ユーポーパレス2階	一般歯科	無
新川崎歯科医院	幸区新川崎3-1 イニシア新川崎101	一般歯科・矯正歯科・小児歯科・歯科口腔外科	無
吉永歯科医院	幸区中幸町1-27-4	一般歯科・小児歯科	無
川崎サン歯科医院	幸区南幸町1-2-7	歯科・小児歯科・口腔外科・矯正	無
メロディー歯科	幸区塚越1-67 サンハイツ沼田101	歯科・小児歯科・歯科口腔外科・矯正歯科	無
新川崎おおき矯正歯科	幸区鹿島田1-8-42	矯正歯科	無
玉置歯科医院	中原区新城3-15-18	歯科	無
てつお歯科クリニック	中原区上小田中6-20-3-2F	歯科・歯科口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
武蔵小杉クリニック	中原区小杉町1-403 タワープレイス1F	歯科一般	無
矢島歯科医院	中原区新丸子町769 新丸子ビル1階	一般歯科・小児歯科	無
及川歯科	中原区中丸子558	歯科	無
新え子デンタルクリニック	中原区新丸子町739-2	歯科・口腔外科	無
上村歯科医院(かみら)	中原区宮内2-14-5	歯科	無
小林歯科医院	中原区木月2-8-5	歯科・小児歯科・矯正歯科	無
いなほ歯科クリニック	中原区上小田中6-23-2-2F	歯科・歯科口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
さかい歯科	中原区新丸子町754-3 NFビル1F	歯科	無
さとう歯科医院	中原区新丸子東1-829	歯科・小児歯科	無
島歯科医院	中原区井田杉山町29-6	一般歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科	無
中ノ町歯科	中原区井田中ノ町35-5黒佐ビル2F	歯科・小児歯科	無
鈴木歯科クリニック	中原区木月1-21-7小山ワールドビル3F	歯科・矯正歯科・小児歯科	無
にかもと歯科医院	中原区宮内1-8-3ハウズクリニック4F	一般歯科・矯正歯科	無
新城アイモール歯科	中原区新城3-1-3 メチエナーテ1F	歯科・小児歯科・歯科口腔外科・矯正歯科	無
藤原歯科医院	中原区新丸子東1-779	歯科	無
星野歯科クリニック	中原区西加瀬16-10	一般歯科・小児歯科・口腔外科	無
宮川歯科医院	中原区木月1-15-10	歯科	無
武蔵小杉デンタルクリニック	中原区中丸子13-20クレール武蔵小杉101	歯科・口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無

医療機関名(歯科医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
山王歯科クリニック	中原区上丸子山王町2-1048ヤマトビル1F		無
武蔵小杉デンタルクリニック	中原区中丸子13-20クレール武蔵小杉101	歯科・口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
山王歯科クリニック	中原区上丸子山王町2-1048ヤマトビル1F		無

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

1. 医師を対象とした研修(平成30年度実績)	11回	(別添1)
2. 上記以外の研修(平成30年度実績)	19回	(別添2)

2 研修の実績

(1)地域の医療従事者への実施回数	30回
(2)(1)の合計研修者数	392人

(注)1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注)2 (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 有 ・ 無

イ 研修委員会設置の有無 有 ・ 無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役職等	臨床経験年数	特 記 事 項
成松 芳明	医師	放射線科	病院長	44 年	教育責任者
宮川 俊一	医師	皮膚科	副院長	40 年	
林 徳厚	事務職員		事務局長		
千島 美奈子	看護師	看護部	副院長		
小宮 浩一郎	医師	整形外科	担当部長	24 年	
原 智	医師	泌尿器科	部長	23 年	
津村 和夫	医師	糖尿病内科	部長	22 年	
玉井 博修	医師	消化器内科	部長	28 年	
早川 和宏	薬剤師	薬剤部	副医長		
杉浦 仁	医師	検査科	部長	40 年	
勝野 隆	事務職員		課長		
村木 佳介	事務職員		職員		

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂	145.2㎡	(主な設備)可動式 プロジェクター マイク
会議室	85.8㎡	(主な設備)机 台 椅子 脚 ホワイトボード
医局カンファレンスルーム	65.0㎡	(主な設備)
看護実習室	44.8㎡	(主な設備) ベッド モデル人形3体 酸素パイピング 吸引配管 ホワイトボード2台 テーブル付椅子12脚
図書室	134.0㎡	(主な設備) 蔵書約4,350冊 電子ジャーナル18誌 電子ジャーナルパッケージ パソコン10台
研究室	21.0㎡	(主な設備)パソコン、電話、電子カルテ端末

別添1

平成30年度 医師を対象とした研修 (川崎市立川崎病院 病診連携の会)

NO	開催月日	主催	名称	内容	参加者
1	5月18日(金)	内科・整形外科 皮膚科	第26回川崎リウマチ・膠原病診療懇話会	症例検討会・病診連携報告 「乾癬性関節炎と関節リウマチの診断と治療」 川崎病院 リウマチ膠原病センター 葉末 亮 副医長	院内医師 15名 院外医師 8名 計23名
2	5月24日(木)	内科	川崎リウマチ膠原病セミナー	講演「肺高血圧症の早期診断・早期治療」 聖マリアンナ医科大学 鈴木 健吾 先生	院内医師 7名 院外医師 4名 計11名
3	5月22日(金)	泌尿器科	川崎泌尿器科病診連携会	講演「診療ガイドラインを読み込むー夜間頻尿と血尿についてー」 川崎病院泌尿器科医長 前田 高宏 先生 講演「前立腺がん連携パスについて」 川崎病院泌尿器科 原 誓 部長	院内医師 6名 院外医師 10名 計16名
4	6月26日(火)	小児科	第388回川崎小児科医会症例検討会	講演1 5歳まで無症状で経過した先天性嚢胞性肺疾患の1例 講師 川崎病院小児科 西 忠美生 医師 講演2 多呼吸、低血糖で搬送された新生児の一例 講師 川崎病院新生児内科 金子 絵名 医師 講演3 非典型的な川崎病の臨床像からYersinia pseudotuberculosis感染と診断した7歳女児 講師 川崎病院 内田 純子 研修医	院内医師 13名 院外医師 6名 計19名
5	9月12日(水)	内科	川崎リウマチ膠原病セミナー	講演1 「チーム医療～川崎市立川崎病院での取り組み～」 講師 川崎市立川崎病院 高橋 一子 看護師 講演2 「リウマチ診療最新情報～L-6阻害薬の可能性も含めて～」 講師 聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology-Center 岸本 暢博 医長	院内医師 9名 院外医師 14名 計23名
6	11月16日(金)	内科	川崎リウマチ膠原病セミナー	講演 「シェーグレン症候群への最新アプローチ」 講師 慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科 専任講師 鈴木 勝也 先生	院内医師 8名 院外医師 9名 計17名

NO	開催月日	主催	名称	内容	参加者
7	11月30日 (金)	内科・整形外科 皮膚科	第27回川崎リウマチ・膠原病診療懇話会	症例検討会・病診連携報告 「関節リウマチ患者の手・肘の治療」 川崎病院 整形外科担当部長 西脇 正夫 医師	院内医師 16名 院外医師 5名 計21名
8	12月17日(月)	精神科	地域連携講演会	講演1 「地域における川崎病院の役割」 講師 川崎病院 西森春江精神科認定看護師 川崎病院 吉崎 弘之 看護師 講演2 「救急病棟での看護の取り組み」 講師 医療法人 聖心会 丸藤 めぐみ 看護師長 特別講演 講師 東京都立松沢病院 精神科 江西 孝仁 医師	院内医師 23名 院外医師 19名 計42名
9	1月18日(金)	内科	第7回リウマチ膠原病セミナー	講演 「ANCA関連血管炎の診断と治療」 講師 聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー 内科 助教 高桑 由希子 先生	院内医師 5名 院外医師 6名 計11名
10	2月8日(金)	内科	第7回ISKAR研究会	講演「ベーチェット病の臨床」 日本医科大学武蔵小杉病院リウマチ・膠原病内科 部長 佐 野 光洋 先生	院内医師 8名 院外医師 3名 計11名
11	2月25日(月)	川崎病院 幸区・川崎区医師 会	第9回幸・川崎病診療NET	講演1「関節リウマチの最新治療ストラテジー」 演者 川崎市立川崎病院リウマチ膠原病・痛風センター 担当部長 田口 博章 先生 講演2「人工知能で変わる変わらないこと 放射線科を 中心に」 演者 慶応義塾大学医学部放射線科学 助教 橋本 正弘 先生	院内医師 12名 院外医師 12名 計24名

平成30年度 医師以外を対象とした研修 (川崎市立川崎病院 認定看護師の勉強会)

NO	開催月	主催	共催	名称	テーマ	認定看護師種別	担当者	研修対象	参加者
1	5月7日(月)	認定看護部会	患者総合サポートセンター 川崎市社会福祉協議会	知っとくナース	事例から学べる認知症看護	認知症看護	高畑 良子	川崎市 医療・介護等従事者	院内 35名 院外 14名
2	5月7日(月)	認定看護部会	患者総合サポートセンター 川崎市社会福祉協議会	院内講演会 オープンセミナー	カテーテル関連尿路感染症	感染管理	三津田 貴	川崎病院看護師 神奈川県看護協会	院内 53名 院外 2名
3	6月6日(水)	認定看護部会	患者総合サポートセンター 川崎市社会福祉協議会	院内講演会	新人看護師のためのメンタルヘルス	精神科看護	西森 香江	川崎病院看護師 神奈川県看護協会	院内 42名 院外 1名
4	6月22日(金)	看護部	患者総合サポートセンター 川崎市社会福祉協議会	出張講座	リハビリテーション栄養と 褥瘡予防の取り組み	皮膚排泄ケア	佐藤江利子	介護老人福祉施設 検査医・ディサービス 看護師、介護職員、 相談員	施設職員 32名
5	7月4日(水)	認定看護部会	患者総合サポートセンター 川崎市社会福祉協議会	院内講演会 オープンセミナー	いつもとらう。 これって慢性的？	脳卒中 リハビリテーション	森 亜沙美	川崎病院看護師 神奈川県看護協会	院内 61名 院外 3名
6	7月4日(水)	認定看護部会	患者総合サポートセンター 川崎市社会福祉協議会	知っとくナース	こんな時どうする？ ～急変時の看護～	救急看護	奈良 唯唯子	川崎病院看護師 川崎市 医療・介護等従事者	院内 55名 院外 30名
7	7月20日(金)	地域連携部会		地域ケア懇談会	「病室と地域のかかわり」 ～つなぐつながるその人らしさを伝える ために～			川崎病院全職員 地域医療・介護従事者	院内 58名 院外 32名
8	7月27日(金)	認定看護部会	患者総合サポートセンター 川崎市社会福祉協議会	出張講座	嚥下機能評価と嚥下調整食の現状を知る	摂食・嚥下障害看護	古瀬 美穂	介護老人福祉施設 検査医・ディサービス 看護師、介護職員、相談 員	施設職員 32名
9	9月5日(水)	認定看護部会	患者総合サポートセンター 川崎市社会福祉協議会	知っとくナース	糖尿病の糖尿病看護 ～最新治療も踏まえて～	糖尿病看護	土屋 千恵子	川崎市 医療・介護等従事者	院内 11名 院外 13名
10	9月5日(水)	認定看護部会	患者総合サポートセンター 川崎市社会福祉協議会	院内講演会 オープンセミナー	冷静に迅速に！	救急看護	奈良 唯唯子	川崎病院看護師 神奈川県看護協会	院内 67名 院外 4名
11	10月3日(木)	認定看護部会	患者総合サポートセンター 川崎市社会福祉協議会	院内講演会 オープンセミナー	昨日から役立つ職下の話し	摂食・嚥下障害看護	古瀬 美穂	川崎病院看護師 神奈川県看護協会	院内 65名 院外 2名
12	11月7日(水)	認定看護部会	患者総合サポートセンター 川崎市社会福祉協議会	知っとくナース	排泄ケア及び尿失禁に関わる 皮膚トラブル	皮膚・排泄ケア	武重 明日香	川崎市 医療・介護等従事者	院内 16名 院外 12名
13	11月7日(水)	認定看護部会	患者総合サポートセンター 川崎市社会福祉協議会	院内講演会 オープンセミナー	こつすればよかったのか！ 痛みケア	緩和ケア	小山内 愛海	川崎病院看護師 神奈川県看護協会	院内 45名 院外 6名
14	12月15日 (土) 12月16日 (日)	川崎市立 川崎病院 緩和ケア委員会	看護部看護教育委員会	緩和ケア研修 看護師教育プログラム 2018 ELNEC-Jコアカリキュラ ム	川崎で生きる人々を最後まで 支えるために	緩和ケア	飯塚 崇孝	川崎市及びその周辺で勤務 しているエンドオブライフ ケアに関心のある看護師 (日看護 クリニカルリーダーⅡ以 上)	院内 17名 院外 11名
15	1月7日(月)	認定看護部会	患者総合サポートセンター 川崎市社会福祉協議会	知っとくナース	話頭の感音症の感音対策	感染管理	龍崎 貴子	川崎病院看護師 川崎市 医療・介護等従事者	院内 52名 院外 10名
16	1月7日(月)	認定看護部会	患者総合サポートセンター 神奈川県看護協会	院内講演会 オープンセミナー	それって、笑まふ不至!	集中ケア	小澤 恵子	川崎病院看護師 神奈川県看護協会	院内 48名 院外 5名

NO	開催月	主催	共催	名称	テーマ	認定看護領域	担当者	研修対象	参加者
17	2月13日(水)		患者総合サポートセンター 川崎市社会福祉協議会	出張講座	摂食嚥下、嚥下練習、嚥下困難高齢者への食事介助	摂食・嚥下障害看護	古瀬 美穂	医療法人 蘭和会	院内 20名
18	2月15日 (金)	地域連携部会	患者総合サポートセンター	地域ケア懇話会	「病院と地域のかかわり」 ～つなぐつながるその人らしさを支えるために～			川崎病院全職員 地域の医療・介護従事者	院内 55名 院外 45名
19	3月5日(火)	患者総合サポートセンター	患者総合サポートセンター	アドバンス・ケア・プランニング研修会	人生の最終段階における医療ケアの決定プロセスに関するガイドラインについて		国立長寿医療研究センター緩和ケア診療部 地域医療連携室 西川 清訓	川崎病院全職員 地域の医療・介護従事者	院内 98名 院外 22名

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 成松 芳明
管理担当者氏名	医事課長 畑 泰寿

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		電子カルテ (医療情報システム) 医事課	各部門システムに保管されている情報も電子カルテのサーバーに接続されているため、電子カルテから確認することができる。 電子カルテは、1患者1IDで永年保存していて、診断名はICD-10、術式はKコードを使用している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	患者総合サポートセンター	/
	救急医療の提供の実績		
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績		
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概要を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	病院長 成松 芳明
閲覧担当者氏名	患者総合サポートセンター 山村 信之
閲覧の求めに応じる場所	患者総合サポートセンター
<p>閲覧の手続の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 連携登録医は、「閲覧申込書(別紙7-1)」に、閲覧希望日時・閲覧を希望する諸記録等を記入して患者総合サポートセンターあてにFAX等により連絡を行う(申込みをする)。 2 患者総合サポートセンターは申込を受け付けたら、閲覧日時の確認、調整等を行い、日時を決定する。 3 日時が決定したら、患者総合サポートセンターは、当該日時を閲覧申込書に記入し、連携登録医あて返信する。 4 連携登録医が患者の診療記録を閲覧する場合は、事前に患者から同意書を取得する。 5 連携登録医は、決定した日時に患者総合サポートセンターにおいて閲覧を行う(同意書も提出する)。 	

前年度の総閲覧件数		0 件
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

閲覧申込書

(あて先)川崎市立川崎病院長

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧を申し込みます。

連携登録票 医療機関の名称	閲覧希望者 氏名
閲覧希望日時	年 月 日() 時 分

閲覧を希望する諸記録

チェック	
診療記録	
患者氏名	生年月日 年 月 日
共同利用の実績	
救急医療の提供の実績	
地域の医療従事者の資質向上を図るための研修の実績	
紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	

※

諸記録の閲覧について、次の日時に当院患者総合サポートセンターまでお越しください。

年 月 日() 時 分

川崎市立川崎病院長

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回	平成30年 5月22日開催 平成30年 7月31日開催 平成30年11月 6日開催 平成31年 2月 5日開催
委員会における議論の概要		
名称	川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会	
委員	別紙8-1「委員構成」のとおり	
委員の就任	別紙8-2「就任承諾書」のとおり	
履歴書	別紙8-3「履歴書」のとおり	
委嘱状	別紙8-4「委嘱状」のとおり	
要綱	別紙8-5「川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱」 のとおり	
標記委員会の議論の概要		
第1回 別紙8-6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議録 ・ 委嘱状の交付 ・ 議事録署名人選出 ・ 紹介患者の数等について ・ その他 	
第2回 別紙8-7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議録 ・ 議事録署名人選出 ・ 紹介患者の数等について ・ その他 	
第3回 別紙8-8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議録 ・ 議事録署名人選出 ・ 紹介患者の数等について ・ その他 	
第4回 別紙8-9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議録 ・ 議事録署名人選出 ・ 紹介患者の数等について ・ その他 	
会議録等	<p>「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」第3条に基づき、標記委員会は公開としている。</p> <p>また、同条例第9条に基づき、標記委員会は会議録を作成している。</p> <p>さらに、同条例第10条に基づき、会議録の写しを閲覧に供することとしている。</p>	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

川崎市立川崎病院
平成30年度第1回地域医療支援病院運営委員会 会議録

1 開催日時 平成30年5月22日(火) 13時30分～14時30分

2 開催場所 川崎病院4階会議室

3 出席者

(1) 委員

鈴木 真 (委員長)	川崎市医師会監事
金井 久弥 (副委員長)	川崎区歯科医師会会長
古川 智洋	川崎区医師会会長
田角 喜美雄	幸区医師会会長
髙内 宏光	幸区歯科医師会副会長
高橋 義和	川崎区薬剤師会会長
小林 由紀子	幸区薬剤師会会長
原庄 美根子	川崎市看護協会常務理事
馬場 武	川崎市健康福祉局保健医療政策室室長
林 露子	川崎区役所保健福祉センター所長
石井 博道	川崎市消防局川崎消防署署長

(2) 川崎病院

成松 芳明	病院長
大善根 康夫	副院長兼患者総合サポートセンター所長
千島 美奈子	副院長兼看護部長
田熊 清継	救命救急センター所長
鬼澤 勝弘	歯科口腔外科部長
小林 加寿夫	薬剤部副部長(部長代理)
角田 昭夫	放射線診断科担当課長
林 徳厚	事務局長
勝野 隆	庶務課課長
畑 泰寿	至事課課長
北村 修	患者総合サポートセンター副所長
岡本 朋江	患者総合サポートセンター担当課長
森田 尊志	患者総合サポートセンター担当課長
山村 信之	患者総合サポートセンター担当係長

4 資料

川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱

平成30年度第1回川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会 次第

委員名簿

座席表

資料1 患者総合サポートセンターについて

資料2 紹介患者の数等について

資料3 緊急受診・転院依頼応需状況について

資料4 医療機器共同利用について

資料5 地域の医療従事者を対象とした研修について

資料6 市民公開講座について

資料7 PET-CTの導入について

資料8 連携登録医の登録状況について

資料9 連携登録医の図書室利用について

資料10 平成30年度川崎病院の主な取組について

資料11 医師の人事異動について

資料12 平成30年度の開催日程について

参考資料1 前回運営委員会 会議録

参考資料2 くすの木 32号

参考資料3 市民公開講座（平成30年6月20日実施予定）広報用資料

5 内 容

(1) 開 会（司会進行 北村副所長 以下（8）まで）

定刻でございますので、ただ今より、平成30年度第1回川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会を開催させていただきます。

本日の進行を務めさせていただきます、川崎病院患者総合サポートセンター副所長の北村でございます。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、お手元の次第に沿いまして進めさせていただきます。

(2) 病院長あいさつ

病院長の成松でございます。

本日はお忙しい中、川崎病院地域医療支援病院運営委員会に御出席いただきありがとうございます。年度が変わり、委員の皆様にはまた新たに貴重な御意見を頂戴できればと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

今回はメンバーも若干変更になりましたので、紹介も兼ね御挨拶いただくのと、昨年度の実績についての報告、患者総合サポートセンターについての説明、また、今年度の様々な取組について御紹介させていただければと思っております。よろしくお願いたします。

(3) 委嘱状交付

（北村副所長）

続きまして、本日御出席の皆様のご紹介とあわせまして、皆様に委嘱状を交付させていただきます。

昨年度第4回の委員会でお話ししましたように、全ての委員の皆様が平成29年度末をもって任期満了となっております。そのため川崎市医師会をはじめ、各組織に委員の御推

薦を改めてお願いしたところ、川崎市連合町内会以外からは前回まで委員を務めていただいた皆様を再度推薦していただいたところでございます。なお、川崎市連合町内会からは、深瀬委員に代わりまして、本日は御都合により御欠席ではございますが、山田 義孝 様を御推薦いただきました。

また関係行政機関につきましては、保健医療政策室及び川崎保健所川崎支所の人事異動により、廣政委員に代わりまして、馬場 武 室長、雨宮委員に代わりまして林 露子 所長に委員をお願いしたいと存じます。

なお、委嘱状についてですが、本来ですと直接お手渡しをするところではございますが、本日は限られた時間でございますので、皆様の机上の封筒に封入させていただきましたので、御確認くださいませようお願いします。

(4) 委員自己紹介

(北村副所長)

それではここで、恐れ入りますが委員の皆様方から、自己紹介をいただければと存じます。

原田委員からお席の順に時計まわりで一言、お願いできればと存じます。よろしく願いいたします。

(原田委員)

看護協会の原田と申します。よろしく願いいたします。川崎市の看護協会は、全国で唯一市の区域で持っている団体となっております。川崎市内の看護職というのは、代々人員が足りないという経由がありましたので、人材確保や人材育成といったことを目的に、20年前より発足いたしました。現在は、病院協会の皆様と一緒に地域包括ケアを進めるために、退院調整の翼係の教育活動等に力を入れております。また先生方に御協力等を仰ぐこともあるかと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(北村副所長)

ありがとうございます。それでは、山田委員が本日欠席となっておりますので、次に髙内委員、よろしく願いいたします。

(髙内委員)

幸区歯科医師会副会長の髙内と申します。よろしく願いいたします。

(田角委員)

幸区医師会会長をしております田角と申します。昨年度に引き続きよろしく願いいたします。

(古川委員)

川崎市医師会会長の古川と申します。前年度に引き続きよろしく願いいたします。

(鈴木委員)

川崎市医師会監事の鈴木と申します。前年度に引き続きよろしく願いいたします。

(金井委員)

川崎市歯科医師会会長の金井と申します。前年度に引き続きよろしく願いいたします。

(高橋委員)

川崎市薬剤師会会長の高橋と申します。よろしく願いいたします。

(小林委員)

幸区薬剤師会会長の小林と申します。よろしくお願いいたします。

(馬場委員)

川崎市健康福祉局保健医療政策室室長の馬場と申します。この4月に着任いたしました。勉強させていただきます。よろしくお願いいたします。

(林委員)

川崎区役所保健福祉センター所長の林と申します。私もこの4月より着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

(石井委員)

川崎市消防局川崎消防署署長の石井と申します。昨年に引き続き2年目となります。ぜひよろしくお願いいたします。

(5) 病院側出席者紹介

(北村副所長)

ありがとうございました。

それでは、次第の5といたしまして、病院側の出席者を紹介させていただきます。

初めに大曾根副院長でございます。

(大曾根副院長)

副院長の大曾根でございます。患者総合サポートセンター所長を兼務しております。よろしくお願いいたします。

(千島副院長)

千島と申します。綱島副院長の後任として、今年度より副院長兼看護部長となりました。新人の頭より川崎病院に勤めておりまして、36年目となります。皆様に御教示いただきながら務めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(鬼澤部長)

鬼澤でございます。いつもありがとうございます。よろしくお願いいたします。

(林事務局長)

事務局長の林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

(森田担当課長)

患者総合サポートセンターの森田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

(角田担当課長)

放射線科担当課長の角田と申します。よろしくお願いいたします。

(勝野課長)

庶務課長の勝野と申します。本年度も引き続きよろしくお願いいたします。

(畑課長)

医事課長の畑と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

(小林副部長)

薬剤部の小林と申します。本来は部長の早川が出席するところではございますが、本日公用のため出張しておりますので、代理で出席させていただいております。よろしくお願いいたします。

(岡本担当課長)

患者総合サポートセンター担当課長の岡本でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

ます。

(山村担当係長)

患者総合サポートセンターに今年度参りました、山村と申します。どうぞよろしくお願
いいたします。

(北村副所長)

最後に、患者総合サポートセンター副所長の北村と申します。どうぞよろしくお願
いいたします。

■ 配布資料の確認

次第、委員名簿、座席表、本委員会要綱、資料集(資料1～12)、参考資料1～3が、
それぞれ各委員にあることを確認。

(6) 議事録署名人選出

(北村副所長)

続きまして、次第の6、当運営委員会の要綱につきまして森田担当課長から、御説明さ
せていただきます。

(森田担当課長)

それでは、お手元の別紙資料「川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱」に
つきまして、御説明を申し上げます。

このたび地域医療部が患者総合サポートセンターと組織を変更したことに伴い、第7条
の庶務関係を改正いたしました。改正箇所といたしまして、地域医療部という文言を患者
総合サポートセンターと組織名の置き換えをおこないました。今後は本要綱を用いて本委
員会を運営してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

(北村副所長)

ただいまの説明につきまして、御不明な点はございませんでしょうか。

(異議なし)

(7) 委員長選出

(北村副所長)

今回は今期の委員の皆様は初めて出席していただく会議になりますので、今しがた御説
明しました要綱の第5条第2項により委員長を互選により決めていただきたいと存じま
す。どなたかいかがでしょうか。

(古川委員)

鈴木先生。昨年度もお願いしたところですが、今期もいかがでしょうか。

(鈴木委員)

お引き受けさせていただきます。よろしくお願いたします。

[委員一同拍手で同意]

(北村副所長)

ありがとうございました。

それでは、続きまして副委員長の選任をお願いしたいと存じます。副委員長につきまし
ては、委員長の指名によるものとしております。鈴木委員長、いかがでしょうか。

(鈴木委員長)

はい。それでは、副委員長につきましても、引き続き川崎区歯科医師会の金井委員にお願いしたいと思いますですが、いかがでしょうか。

[委員一同拍手で同意]

(北村副所長)

ありがとうございました。

委員長には鈴木委員、副委員長には金井委員が引き続き選出されました。

それでは、改めまして鈴木委員長、金井副委員長から御挨拶をいただければと存じます。はじめに委員長、よろしくお願いいたします。

(鈴木委員長)

改めまして、川崎区医師会監事の鈴木と申します。ただいま委員長に推薦していただきました。ありがとうございます。一生懸命務めてまいりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

(金井副委員長)

川崎区歯科医師会の金井と申します。前年度に引き続き、鈴木委員長の補佐として務めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(北村副所長)

ありがとうございました。

(8) 議事録署名人選出

(北村副所長)

本委員会につきましては、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例などに基つき、会議録の作成と、委員による当該会議録の確認が必要となっております。本委員会では、会議録の確認をしていただく委員を、議事録署名人として、委員会開催の都度、委員長に指名をお願いしたいと存じます。

鈴木委員長、よろしくお願いいたします。

(鈴木委員長)

それでは指名させていただきます。議事録署名人については、本日の委員会については、田角委員にお願いしたいと思いますですが、いかがでしょうか。

(田角委員)

了解しました。

(北村副所長)

ありがとうございました。それではこれ以降の進行につきましては、鈴木委員長にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

■ 会議公開の確認 (進行 鈴木委員長)

(鈴木委員長)

それでは、議題に入ります前に、まず会議の公開について委員の皆様にお諮りいたします。

川崎市では、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基つき、このような会議は原則として公開することになっております。非公開の事由となる個人情報や企業機密にかかわる事項はないとの事務局からの説明ですので、本日の会議についても公開としたい

と思いますが、よろしいでしょうか。

(委員一同「異議なし」)

(鈴木委員長)

それでは公開いたします。

(9) 傍聴者の確認・入室

(鈴木委員長)

次に、会議の公開決定に伴い、本日の委員会に係る傍聴希望者について、事務局から報告をお願いいたします。

(森田担当課長)

傍聴希望者の方は、本日はいらっしゃいません。

(鈴木委員長)

ありがとうございました。

(10) 議 題 (進行 鈴木委員長)

ア 患者総合サポートセンターについて 「資料1 患者総合サポートセンターについて」
(大曾根所長)

4月に当院で患者総合サポートセンターが開設されました。所長を務めます大曾根より報告いたします。

- ・ 患者総合サポートセンターは、今まで別のフロアで業務を行っていたそれぞれの担当部署が、一つに集約された。
- ・ 委員会や公開講座等、事務手続きを執り行う事務部門、先生方からの紹介や診療依頼等を受付している連携室、MSWが活躍している医療福祉相談、がん相談支援センター、これら部門が1フロアに集約され、連携を密にし、さらなるサービス向上を図る。
- ・ がん相談支援センターや医療福祉相談といった、患者さんと直接話し合う場においては、従来通り1階21番窓口となっている。スタッフは3階から1階の21番窓口に移動し、面談を行っている。
- ・ 今年度は、先生方からの紹介状への返信をできるだけ早く、出来れば第一報を1週間以内にしようと4月より試みており、最終的には返信率について御信頼をいただけるようにしたいと考えている。
- ・ 業務の変更は無いが、統合したことにより1人の患者さんに対して医療的要素、経済的な要素、社会的な要素、精神的な要素等、これらの要素を多面的に考えながらスタッフ一同患者さんをサポートしていきたいと考えている。

イ 紹介患者の数等について 「資料2 紹介患者の数等について」
(大曾根所長)

中道担当部長が不在のため、私より報告させていただきます。

- ・ 平成29年度の年間紹介患者数は11,878人。逆紹介患者数は15,350人、初診患者数は13,075人、紹介率65.7%、逆紹介率84.9%であった。
- ・ 昨年度と比較すると、紹介率、逆紹介率ともに、約5%の上昇となっている。
- ・ 4ページ目は、各科別の紹介数、逆紹介数になっているので後程御覧ください。

(鈴木委員長)

紹介率、逆紹介率上昇の原因はなんでしょうか。

(大曾根所長)

原因として、初診患者数の減少が考えられます。緊急患者数は初診患者数から除いており、その緊急患者数が増加しておりますので、分母数が減少したことにより紹介率、逆紹介率が上昇しています。

(鈴木委員長)

ありがとうございます。

ナ 緊急受診・転院依頼 応需状況について 「資料 3 緊急受診・転院依頼 応需状況について」

(大曾根副委員長)

平成29年度の緊急受診・転院依頼応需状況について御報告させていただきます。

- ・ 登録医の先生方を中心に地域連携室に緊急受診の依頼のあった件数は1,022件、うち受け入れ困難は166件、受け入れ件数856件、応需率83.8%であった。
- ・ 緊急受診後の入院件数は561件、入院率は65.5%であった。
- ・ 転院依頼件数は193件、うち受け入れ困難数は50件、応需率は74.1%であった。
- ・ 今後も可能な限り受け入れられるよう、努力したい。

(鈴木委員長)

手術中などは中々受け入れることが難しい、と前年度で報告がありましたが、今年度も同じような状況でしょうか。

(大曾根所長)

はい。

(鈴木委員長)

了解しました。

エ 医療機器共同利用について 「資料 4 医療機器共同利用について」

(岡本担当課長)

患者総合サポートセンター担当課長岡本です。よろしくお願いたします。

- ・ 平成29年度高度医療機器共同利用件数は、CT107件、MR150件等、合計411件であった。
- ・ 資料4の下部のグラフは、平成23年度からの年度別医療機器共同利用状況である。
- ・ 平成25年度からは400件前後とほぼ変わらない状況である。
- ・ 411件のうち57件は地域の診療所クリニックの先生方から予約していただいている。

(古川委員)

栄養相談の件数が1件と実質0であるようですが、依頼方法が特殊、もしくは難しい等、何か原因があるのでしょうか。

(岡本担当課長)

月々の外来診療担当表にポスターを作って提示しましたが、御予約は少ない状況で

す。依頼は電話で可能ですので、難しいことが原因ではないと考えられます。

(古川委員)

保険は3割負担なのでしょうか。費用はどの程度なのでしょうか。

(岡本担当課長)

申し訳ありません。把握しておりません。

(古川委員)

手間と費用と依頼方法がクリアになれば、当然需要はあると思います。1件ということとは実質稼働していないのではないのでしょうか。

(岡本担当課長)

検討させていただきます。

オ 地域の医療従事者を対象とした研修について 「資料5 地域の医療従事者を対象とした研修について」

(岡本担当課長)

- ・ 資料5は平成29年度地域の医療従事者を対象とした研修として、医師用と看護師用に分かれています。
- ・ 医師は計9回、看護師は認定看護師を中心に、社会福祉協議会と共催し市内の医療介護従事者を対象に計16回研修を開催した。
- ・ 地域医療支援病院における研修に関しては12回以上となっており、要件としてクリアしている。
- ・ 7月20日に地域ケア懇談会の研修を開催予定であり、後日ポスターで掲示を行う。

(鈴木委員長)

原田委員、看護協会の立場として、御意見をお聞かせください。こういった研修は活用されていらっしゃるのでしょうか。

(原田委員)

看護協会には独自の研修会を設けており、こちらの研修はあまり活用しておりません。しかし地域ケア懇談会に関しては関わりがありますので、参加させていただくことがあります。ちなみに、参加者は医療関係か介護関係かなど、内訳はどのようになっているのでしょうか。

(岡本担当課長)

院内の参加者はほぼ看護職となっています。院外は訪問看護ステーションの看護師や、最近では居宅介護事業所のケアマネージャーが多く参加されています。また、地域包括支援センターの方々も参加されています。

(原田委員)

看護協会は、施設系の看護師さんはなかなか研修の機会がありません。御要望も多い状況ですので、もっと積極的にPRしていただければと思います。

(岡本担当課長)

了解しました。

カ 市民公開講座について 「資料6 市民公開講座について」

(森田担当課長)

- ・ 市民公開講座は年6回、また運営支援として糖尿病講座を年1回開催している。

- ・ 参加者は、昨年度は全6回で608名、糖尿病講座は42名、計650名であった。
- ・ 平均100名ほどの参加人数だが、第2回、第4回、糖尿病講座は雨天のため若干参加人数が少ない傾向であった。
- ・ 平成30年度も29年度と変わらず年6回の市式公開講座、年1回の糖尿病講座を予定している。
- ・ 4月26日に第1回を終了した。参加者は158名と、定員数を大幅に超えた参加人数となった。
- ・ 第2回目は6月20日にミュージア川崎シンフォニーホールで行われる。
- ・ 第4回目以降の会場は、抽選に当選すれば第2回と同様ミュージア川崎シンフォニーホールでの開催となる。
- ・ 広報は主に市政だより、院内表示、各医療機関や市役所等にチラシ配布を行っている。

(鈴木委員長)

我々クリニックで掲示をしているチラシを見て公開講座に参加した人数というのは、資料6の情報源の内訳のうち、「その他」に該当するのでしょうか。

(森田担当課長)

はい。

(鈴木委員長)

我々も協力したいと考えておりますので、今後も御案内をお願いいたします。

(森田担当課長)

了解しました。

キ PET-CTの導入について 資料7「PET-CTの導入について」

(角田委員)

PET-CTの予約について、御報告させていただきます。

- ・ 5月7日より予約を開始している。11pに予約についてのフローを掲載しているので御参考ください。(フローについて説明)
- ・ 検査は1日2件を予定している。

(鈴木委員長)

保険外の場合はどのように対応するのでしょうか。

(角田委員)

その場合、自費というかたちで対応いたします。予約方法については同様の対応となり、自費であることが分かるように説明、対応を行っていく予定です。用紙の記入方法に関しては相談していただければと思います。

(古川委員)

費用は決まっているのでしょうか。

(角田委員)

費用は91,000円に消費税を追加し、98,280円。これに初診、再診料を追加した金額を想定しています。

ク 連携登録医の登録状況等について 「資料8 連携登録医の登録状況等について」

(森田担当課長)

- ・ 平成30年5月1日時点での連携登録医の数は、382件となっている。内訳として、医院については川崎区111件、幸区95件、中原区14件、その他の地域22件、計242件。歯科医院については川崎区79件、幸区38件、中原区22件、その他の地域1件の140件である。
- ・ 昨年度における同時期の連携登録医の数は369件であり、13件増加している。
- ・ 新しく登録されるクリニックの傾向として、新規開業のクリニックだけではなく、遠方より連携登録の申し込みがある。例として、茅ヶ崎のクリニックがあげられる。
- ・ 川崎区、幸区のクリニックはほぼ100%となっているため、今後は遠方のクリニックを開拓していきたいと考えている。

(金井副委員長)

エントランスにあるパネルを確認したが、2件ほど抜けがあると感じた。1年に1度で構わないので、名簿を見せていただきたい。

(森田担当課長)

了解しました。

(成松病院長)

次回の委員会で登録医の名簿をお渡しできるよう準備いたします。

(金井副委員長)

よろしくお願いします。

(原田委員)

遠方のクリニックで連携登録区となるメリットデメリットはあるのでしょうか。近隣のクリニックと連携を強化するものだと思っていました。

(森田担当課長)

茅ヶ崎の整形外科のクリニックに関して言いますと、連携登録医になる以前より患者さんを紹介していただいていた。そういった繋がりのある遠方のクリニックを中心に、連携登録医の御協力をいただきたいと考えています。また、かなり特殊なクリニックと繋がることも大きなメリットであると考えています。様々な診療のクリニックと繋がることにより、全体の医療の保障を図れればと思っています。

(原田委員)

患者さんも遠方から受診されていらっしゃるのでしょうか。

(森田委員)

はい。当院に受診いただいています。

(原田委員)

了解しました。

ケ 連携登録医の図書室利用について 「資料9 連携登録医の図書室利用について」

(森田担当課長)

- ・ 連携登録医の方は、当院の図書室を利用できる。
- ・ 図書室の利用については登録時に案内しているが、ホームページをリニューアルしたことに伴い、あらためて報告することにした。
- ・ 図書室のホームページは外部サイトになっている。理由として、図書の入替えが

頻繁であり、更新を適宜行えるよう外部サイトとして設定している。

- ・ ホームページでは所在の確認のみで、内容の閲覧は契約上不可となっている。本の内容を確認したい場合は、図書室に連絡の上、予約をして閲覧していただく。
- ・ 6月1日に外来担当表を送付する際、あわせてホームページ開設の案内と、図書室の利用ガイドを送付し、連携登録医の皆様への周知を努める予定である。

(鈴木委員長)

勉強熱心な先生ですと、周知することで活発に利用するのではないのでしょうか。田角委員、いかがでしょうか。

(田角委員)

そうですね。しかし平日10:00~17:00という時間帯のため、昼休みでないと利用することが難しいです。

- コ 平成30年度川崎病院の主な取組について 「資料10 平成30年度川崎病院の主な取組について」

(森田担当課長)

- ・ 平成30年度、今後の予定として、6月に第2回市民公開講座、地域医療連携便りの発行。また、10月には地域医療連携の会を開催する。
- ・ 川崎病院の機能再編基本計画が、この4月策定された。ホームページにも掲載しているので、ぜひ御確認ください。

- サ 医師の人事異動について 「資料11 医師の人事異動について」

(成松病院長)

- ・ すでに連携登録医の先生方には御案内しているが、約60名の異動があったので、あらためて報告する。
- ・ 紹介、逆紹介、処方箋等、何か確認する際に活用していただければ、と考えている。個人情報ではあるが、調剤薬局や各診療所で管理し、御活用ください。
- ・ 4月より漢方医が変更になり、言野医師が担当するが、従来通り紹介患者を受付けているのでよろしくお願いします。

- シ 平成30年度の開催日程について 「資料12 平成30年度の開催日程について」

(森田担当課長)

- ・ 平成30年度の本委員会は年4回を計画している。これは医療法等で概ね四半期に一度の開催を、と定められていることによる。
- ・ 第1回を本日の委員会とし、第2回を7月31日(火)、第3回を11月6日(火)、第4回を2月5日(火)と考えている。いずれも13時30分から14時30分、会場は川崎病院4階会議室とする。

(高橋委員)

開催日程の件ではありませんが、院外処方箋のプロトコルを川崎市全体で進めつつあり、川崎病院が受け入れないという回答がありました。その辺りはどのようにお考えでしょうか。

(成松病院長)

薬剤部より提案があり、また現場の医師から問題点の指摘もありましたので、理事委員会で専門の医師に確認をした上で病院全体としての同意を得られれば、スタートする予定でいます。

(高橋委員)

アンケートを行っておりますが、評判が良いです。また、多摩病院も行っております。患者さんのためにもなると思いますので、ぜひ進めていただきたい。

(成松院長)

了解しました。

(11) その他 (進行 鈴木委員長)

(森田担当課長)

- ・ 参考資料1の前回運営委員会 会議録を配布しました。後程御覧ください。
- ・ 参考資料2は地域の方を対象とした広報紙くすの木です。御参考ください。
- ・ 参考資料3は第2回の市民公開講座のチラシとなります。

(鈴木委員長)

その他、事務局から何かありますか。

(森田担当課長)

事務局からは特にございません。

(鈴木委員長)

それでは最後になりますが、成松院長から何かございますか。

(成松病院長)

本日は貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。いくつか宿題も頂戴しておりますので、また院内で検討した上で次回までに回答できるよう努力いたします。またこの1年、御指導の程よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

(9) 閉 会 (進行 鈴木委員長)

(鈴木委員長)

以上で、議題は全て終了いたしました。これで委員会を終了したいと思います。本日は御協力ありがとうございました。

議事録署名人

川崎市立川崎病院 地域医療支援病院運営委員会

委 員

川崎市立川崎病院
平成30年度第2回地域医療支援病院運営委員会 会議録

- 1 開催日時 平成30年7月31日(火) 13時30分～14時30分
- 2 開催場所 川崎病院4階会議室

3 出席者

(1) 委員

鈴木 真 (委員長)	川崎市医師会監事
金井 久弥 (副委員長)	川崎区歯科医師会会長
古川 智洋	川崎区医師会会長
田角 喜美雄	幸区医師会会長
髙内 宏光	幸区歯科医師会副会長
高橋 義和	川崎区薬剤師会会長
小林 由紀子	幸区薬剤師会会長
原田 美根子	川崎市看護協会常務理事
山口 義孝	川崎区連合町内会理事
馬場 武	川崎市健康福祉局保健医療政策室室長
林 露子	川崎区役所保健福祉センター所長

(2) 川崎病院

成松 芳明	病院長
大曾根 康夫	副院長兼患者総合サポートセンター所長
千島 美奈子	副院長兼看護部長
田熊 清継	救命救急センター所長
荒澤 勝弘	歯科口腔外科部長
早川 和宏	薬剤部部長
角田 昭夫	放射線診断科担当課長
太田 博子	食養科科長
林 徳厚	事務局長
勝野 隆	庶務課課長
畑 泰寿	医事課課長
北村 修	患者総合サポートセンター副所長
岡本 朋江	患者総合サポートセンター担当課長
森田 博志	患者総合サポートセンター担当課長
山村 信之	患者総合サポートセンター担当係長

4 資料

平成30年度第2回川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会 次第
川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱

委員名簿

座席表

資料1 連携登録医の登録状況等について

資料2 紹介患者の数等について

資料3 緊急受診・転院依頼応需状況について

資料4 医療機器共同利用について

資料5 地域医療連携栄養相談について

資料6-1 地域の医療従事者を対象とした研修について（医師用）

資料6-2 地域の医療従事者を対象とした研修について（看護師用）

資料7 市民公開講座について

資料8 医師の採用退職について

資料9 地域医療連携の会について

資料10 「診療のご案内」作成について

別紙1 連携登録医一覧

別紙2 連携登録医一覧

参考資料1 前回運営委員会 会議録

参考資料2 地域医療連携便り vol. 18

参考資料3 くすの木 33号

参考資料4 広報資料

キッズセミナー（平成30年8月4日実施予定）

市民公開講座（平成30年8月10日実施予定）

糖尿病市民公開セミナー（平成30年9月8日実施予定）

健康づくり三地区合同講演会（平成30年8月20日実施予定）

5 内容

(1) 開会（司会進行 北村副所長 以下（8）まで）

定刻でございますので、ただ今より平成30年度第2回川崎市立川崎病院
地域医療支援病院運営委員会を開催させていただきます。

本日の進行を務めさせていただきます、市立川崎病院患者総合サポートセンター副所長
の北村でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、お手元の次第に沿いまして進めさせていただきます。

(2) 委員自己紹介

はじめに、前回欠席され、今回が最初の出席となる山田 義孝（やまだ よしたか）委
員から一言自己紹介をいただければと存じます。

（山田委員）

山田と申します。前は欠席いたしました、本日は一市民として参加いたします。ど
うぞよろしく願いいたします。

(3) 病院長あいさつ

本日は本当にお暑い中、川崎病院地域医療支援病院運営委員会にご出席いただき有難うございます。梅雨明け以来暑い日が続いておりまして、救急患者さんの御依頼も増えている状況でございます。御依頼をいただいてもご迷惑をかけることが多いかと思っております。最近の救急外来の状況について、田熊救命救急センター所長より御報告をいたしますので、よろしくお願い致します。

(田熊救命救急センター所長)

救命救急センター所長の田熊です。平素より患者さんの御依頼をいただき有難うございます。この7月から天候の影響なのか、熱中症が絡んでいる件、また熱中症が絡んでいる件が非常に増加し、満床に近い状況になりました。季節性があり、全く患者さんが搬送されてこない時期もありますが、毎年7月、8月、12月、1月、2月と、ERに入りきれない状況になります。しかし当院は3次救急病院でもありますので、命に関わるような患者さんはどのような混雑状況でも断ることなく、診療をするように努力してまいりますので、今後とも御支援の程よろしくお願いいたします。

■ 配布資料の確認

本委員会要綱、次第、委員名簿、座席表、資料集(資料1～10)、参考資料1～4が、それぞれ各委員にあることを確認。

(4) 議事録署名人選出

(北村副所長)

次に、次第の「3」、議事録署名人の指名でございます。

本委員会につきましては、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例などに基づき、会議録の作成と、委員による当該会議録の確認が必要となっております。本委員会では、会議録の確認をしていただく委員を、議事録署名人として、委員会開催の都度、委員長に指名をお願いしたいと存じます。

鈴木委員長、よろしく願いいたします。

(鈴木委員長)

それでは指名させていただきます。

議事録署名人については、本日の委員会については、古川 智洋 委員にお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(委員一同「異議なし」)

(鈴木委員長)

それでは古川委員、よろしく願いいたします。

(北村副所長)

有難うございました。それではこれ以降の進行につきましては、鈴木委員長にお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。

■ 会議公開の確認(進行 鈴木委員長)

(鈴木委員長)

それでは、議題に入ります前に、まず会議の公開について委員の皆様にお諮りいたしま

す。

川崎市では、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、このような会議は原則として公開することになっております。非公開の事案となる個人情報や企業機密にかかわる事項はないとの事務局からの説明ですので、本日の会議についても公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員一同「異議なし」)

(鈴木委員長)

それでは公開といたします。

(5) 傍聴者の確認・入室

(鈴木委員長)

次に、会議の公開決定に伴い、本日の委員会に係る傍聴希望者について、事務局から報告をお願いいたします。

(森田担当課長)

本日の傍聴希望者の方はいらっしゃいません。

(鈴木委員長)

有難うございました。

(6) 議 題 (進行 鈴木委員長)

ア 連携登録医の登録状況等について (議題1)

(森田担当課長)

患者総合サポートセンター担当課長の森田と申します。本日はよろしくお願ひいたします。

- ・ 7月1日現在の登録の状況について報告させていただいております。前回5月の委員会以降の連携登録医の登録状況は、医院においては幸区1件、中原区1件、他の地域として横浜市鶴見区1件、横浜市青葉区1件の計4件の新規登録、歯科医院においては、川崎区で1件の新規登録があり、合計5件の増加となった。
- ・ 7月1日時点での連携登録医の件数は387件となっている。
- ・ 新規登録医の新川崎むらせ内科循環器内科は、新規開業に伴い新規登録となった。
- ・ 中原区の川崎中原クリニックは、開業医訪問の結果、新規登録となった。
- ・ 前回の委員会で指摘のあった連携登録医の一覧は別紙1(五十音順)、別紙2(所在地町名順)となっている。
- ・ 川崎区の歯科件数は80件であるが、情報の公開について非公開を希望している歯科が1件いるため、別紙1、2においては79件となっている。個別の問い合わせには対応する。

(金井委員)

別紙2は診療所名、電話番号、所在地、科目が紹介されています。これは一般に公開されているものだと思います。ただ別紙1は病院長、責任者名が表記されています。最近の傾向として、個人情報の観点から医師会においてはこのような出し方はしないという決まりになっています。個人名が公開されているのは如何なものかと思いますので、取扱いには注意して頂きたいです。別紙2は良いですが、別紙1は公開すべきではないと思いま

す。

(北村副所長)

御指摘有難うございます。ただいま御指摘いただきましたので、この会議の終了後に別紙1のみ机上に残していただけますでしょうか。また、この別紙1が公開とならないよう配慮させていただきます。有難うございます。なお、一般患者向けのリスト、およびホームページにおいては別紙2の情報が公開されており、別紙1の個人情報等は公開されていません。

(髙内委員)

もうひとつよろしいですか。別紙を拝見しましたが、ぱっと見ただけでも2件ほど閉院している歯科がありますが、何故でしょうか。言賀歯科医院、徳力歯科医院は閉院となっています。事務局で確認していただいて、削除をお願いします。

(森田担当課長)

有難うございます。了解しました。

(鈴木委員長)

医師会においても、高橋眼科医院の先生が移転されていらっしゃいますので、抹消になることになると思います。

(森江担当課長)

有難うございます。名簿の訂正をいたします。

イ 紹介患者の数等について（議題2）

(大曾根副院長)

患者総合サポートセンター所長の大曾根でございます。紹介患者の数等についてご報告いたします。

- ・ 平成30年度4月～6月の紹介患者数は2,998人、逆紹介患者数3,285人、初診患者数4,517人、紹介率66.4%、逆紹介率72.7%だった。
- ・ 当院は地域医療支援病院の要件として、資料2の「③紹介率が50%以上であり、かつ逆紹介率が70%以上」で認定されているため、要件を満たしている。しかし逆紹介率は70%をやや上回っているという状況であるため、今後より一層の上昇を目指して取り組んでいきたい。
- ・ 昨年度と同様、4月の時点で医師の職員が研修医も含め半数以上が入れ替わっているため、診療情報提供書の作成などオリエンテーションを行ってはいるが、若干下がる傾向にある。
- ・ 御紹介いただいた患者さんについて、第一報の返信を一週間以内に行うことを今年度の患者総合サポートセンターの目標の一つとして掲げている。病院全体としては、現在約80%程度である。逆紹介率とともに成績向上を目指していきたい。

ウ 緊急受診・転院依頼応需状況について（議題3）

(大曾根副院長)

- ・ 平成30年度4、5、6月における当日緊急受診の依頼件数の合計は252件。入院率65.5%、転院（転入）の依頼件数は35件、応需率は71.4%であった。
- ・ 4月は依頼件数77件、応需率80.5%、入院率32.3%。5月は依頼件数83

件、応需率84.3%、入院率77.1%。6月は依頼件数92件、応需率84.8%、入院率74.4%だった。

(鈴木委員長)

受け入れ困難の患者さんがその後どの病院で受け入れて貰えて、どのような病気であったのか等の確認はしているのでしょうか。

(大曾根副院長)

申し訳ございません。受け入れ出来なかった場合のその後についてはわかりません。

(鈴木委員長)

今後確認はすることなく不明のままにするのでしょうか。

(田熊救命救急センター所長)

実は今朝も臨港病院で30代の産後の女性が脳出血らしいということで当院へ要請が来ました。しかし脳外科が不在のためすぐに対応できないという観点から、状況によってはすぐに手術をしたほうがいだろうと、他院へ搬送してもらいました。救急に関しては、こういう事例は最後まで責任を持って追跡調査を行っており、必ず当日のうちにどこに搬送されているのか調べるように指示しています。ですので、緊急性が高いものに関しては最後まで確認していますが、緊急性の低いものに関してはまだ体制ができていませんので、今後検討していかなければいけないと考えています。

(大曾根副院長)

今、三次救急について田熊救命救急センター所長がご説明していたように、救急救命センターについては消防局からの依頼ですのでフォローすることはできるかと思いますが、登録医の先生方からの緊急依頼に関しては、中々実施するのは難しいです。

参考までに、どのような症例の受け入れができていないかという点、4月から3か月間で合計42件の受け入れ困難件数のうち、ERのベッドや病院全体のベッドが満床のためが8件でした。また、担当の診療科の医師が当直でないためが10件、対応できる医師が全員オペ対応中であるためが3件等でした。その他さまざまな理由により受け入れをお断りしています。

(鈴木委員長)

ありがとうございました。

ロ 医療機器共同利用について (議題4)

(岡本担当課長)

岡本と申します。よろしくお願ひいたします。

- ・ 平成30年度6月においては、CTが18件と増加傾向にある。
- ・ PET-CTは今年度5月より予約受付を開始した。5月、6月の合計は32件となっている。
- ・ その他MR1等も含め、6月の合計は62件と平成29年度の6月の合計34件に比べ大幅に増加している。
- ・ 前回指摘のあった栄養相談については、この後の議題5で改めて説明する。

オ 地域医療連携栄養相談について (議題5)

(太田食養科長)

食養科長の太田と申します。よろしくお願ひいたします。

- ・ 今までも行っていたが中々依頼件数が伸びないということから、患者総合サポートセンターにチラシ（資料5）を作成していただき、地域の医療機関に配布した。
- ・ 今までは糖尿病を中心に行っていたが、腎臓、肝臓、高脂血症など、様々な生活習慣病に加え、高齢の方や抗がん剤治療中の方など、栄養状態があまりよろしくない方、食事がとれない患者さんにも対応するので連絡して頂きたい。
- ・ 今までは継続指導として毎月来院して頂いていたが、今後は患者さんの御都合や症状にあわせて単発でも対応していきたいと考えている。
- ・ 予約方法は患者総合サポートセンター宛てに電話で予約をして頂く。
- ・ 費用は資料5に掲載しているのので御参考ください。

（古川委員）

この資料はすでに配布されているのでしょうか。

（岡本担当課長）

はい、すでに配布しています。

（古川委員）

有難うございます。時間は概ねどの程度要しますか。

（太田食養科長）

30分ほどみて頂ければと思います。

カ 地域の医療従事者を対象とした研修について（議題6）

「資料6-1 地域の医療従事者を対象とした研修について（医師用）」

（森田担当課長）

- ・ 医師用の研修について。今年度は既に合計4回の研修を開催している。今後の予定として、9月12日（水）に川崎リウマチ膠原病セミナーが確定している。その他、未確定だが10月～11月に第27回川崎リウマチ・膠原病診療懇話会、年明け2月に外科症例検討会、川崎小児科医会症例検討会、次期は未定だが幸・川崎病診Netを予定している。今後新たな計画、研修が入り次第、適宜報告する。

「資料6-2 地域の医療従事者を対象とした研修について（看護師用）」

（岡本担当課長）

- ・ 看護師用の研修について。現在合計7回の研修を開催している。
- ・ 6回目の知っとくナースには院外から30名、7回目の地域ケア懇談会では院外から32名の参加があった。
- ・ 今後の予定として7件の研修を予定しており、都度報告を行なう。

（鈴木委員長）

看護協会から何か御意見等ありますか。

（原田委員）

看護協会からは中々参加する機会がありません。今回押元してこれだけ実施しているのだなと感じました。広報が行き渡るようにするのが難しいのが現状です。施設や病院等には広報が行き渡っているとは思いますが御活用されているのでは、と思います。

キ 市民公開講座について（議題7）

（森田担当課長）

- ・ 平成30年度市民公開講座は特別講座も含め合計7回開催予定である。現在第2回まで終了している。
- ・ 第2回の市民公開講座は、ミューザ川崎シンフォニーホールで開催しており、雨天にも関わらず79名の参加があった。
- ・ 第3回は8月10日（金）に川崎病院7階講堂で開催する。

（成松病院長）

チラシには掲載されておりますが、次回行われます8月10日の市民公開講座はPET-CTに関する講演も行われます。

（鈴木委員長）

市民公開講座の広報は、市政だよりや院内の掲示等で行われるということで、地域の住民の方はそれらを見て参加されると思いますが、町内会理事の山田委員、何か御意見等ありますか。できればリピーターの方だけではなく、より多くの方の参加のため、町内会等でPRしていただくと良いと思うのですが。

（山田委員）

そうですね。

（成松病院長）

よろしく願いいたします。

ク 医師の採用退職について（議題8）

（成松病院長）

7月1日より、3名の医師を採用しています。診療体制等が大きく変更する際にはご連絡いたしますので、よろしく願いいたします。

ケ 地域医療連携の会について（議題9）

（森田担当課長）

- ・ 10月4日（木）に第2回川崎市立川崎病院地域医療連携の会を開催する。
- ・ 会の内容として、意見交換会を行う。当院の医師、技師をはじめ、職員の方々との意見交換を活発にしていればと考えている。
- ・ 招待者は、連携登録医の方々、病院協会加盟の方々、川崎区周辺で患者さんを紹介していただいているの方々、医師会及び歯科医師会の方々等としている。
- ・ この会で、顔の見える関係の構築に努めていきたい。

（成松病院長）

- ・ 現在招待状の発送準備をしている。また、クリニックの先生方により参加して頂けるよう、個別に御相談する可能性もあるので、その際は御協力をお願いしたい。

コ 「診療のご案内」作成について（議題10）

（森田担当課長）

- ・ 現在「診療のご案内」の編集作業を進めており、現在最終段階である。
- ・ 内容として、診療の体制、各医師の紹介、予約方法や診療機器の紹介等である。

- ・ 資料10は表紙となる。最終的に9月までには発行し皆様にもお届けする予定である。

(7) その他 (進行 鈴木委員長)

(森田担当課長)

- ・ 参考資料として、前回の議事録を配布しましたので、後程御確認ください。
- ・ 地域医療連携便り vol. 18、くすの木33号も配布しましたので、御覧ください。
- ・ 広報資料としてキッズセミナー、市民公開講座、健康づくり二地区合同講演会も配布しましたので、御覧ください。
- ・ 次回の委員会は、平成30年11月6日(火)13時30分開始となります。

(原田委員)

地域医療連携便りや、くすの木の広報の範囲について教えてください。

(森田担当課長)

地域医療連携便りは、連携登録医の方々へ配布しています。くすの木は主に川崎病院内の配架スペースに掲げています。

(原田委員)

こここのころ病院に相談をしても中々対応して頂けない、と訪問看護ステーションから御指摘がありました。入院患者さんや外来患者さんだけでなく、今後は在宅の患者さんへの質の高い支援の仕組みづくりや検討をお願いしたいと思います。

また、共同利用に栄養士さんの相談が含まれておりますが、例えば病院には専門の看護師さんが多くいらっしゃるの、地域の看護師さんやケアマネさんが医療的な相談をしたいことがかなり多いと思われま。専門の看護師さんたちの活用というものが、在宅を支える資源として活用する仕組みづくりができているのか、また今後どのように行っていくのか教えていただきたいです。

(千島副院長)

まず1点目の訪問看護ステーションの件ですが、先日私もステーションより困っているとの相談を受けまして、患者総合サポートセンターの岡本担当課長と相談をし、一人窓口を決め在宅等の問い合わせに対応するという事を、先日の地域ケア懇談会でお知らせしました。

2点目ですが、当院の認定看護師は29名おります。中々地域への対応が難しいですが、退院介護訪問で加算がとれるということで、当院で何が出来るか、といった検討を始めています。

(原田委員)

有難うございます。地域で高齢者を支えている看護師は困りごとがたくさんありますので、ぜひ相談機関としても御活躍いただければ有り難いです。よろしくお願いたします。

(成松病院長)

栄養相談は病院で行っているものですので、診療科を通してでないとお受けできない仕組みとなっています。件数が増えないため、我々も今後考えなくてはいけないと検討している最中です。直接看護師さんが栄養相談することができる体制についても、あわせて検討していこうと思っております。御意見有難うございました。

(原田委員)

有難うございます。よろしくお願ひいたします。

(鈴木委員長)

薬剤師の先生から前回御質問を頂いていた、処方箋の Protokol について何か御意見はありますか。

(高橋委員)

前向きに受け入れたい、というお答えを頂きました。前回委員会の議事録を拝見しましたが、私の発言の中で「院内処方箋」と記載されておりました。「院外」が正しいです。

(北村副所長)

大変失礼いたしました。訂正いたします。

(早川薬剤部長)

院外処方箋の Protokol について、先週の薬事委員会で承認されまして、明日の三役会での審議の後締結していくこととなりますので、9月以降になるのではないかと考えています。

(8) 閉会 (進行 鈴木委員長)

(鈴木委員長)

以上で、議題は全て終了いたします。それでは最後に成松病院より御挨拶をお願いいたします。

(成松病院長)

委員の皆様、本日は活発な御意見を頂き有難うございました。最初にお話ししましたとおり、このような気候で熱中症を中心とした様々な方々の受診にお応えできない状況もあるかと思いますが、救急救命センターを中心にできるだけ対応するよう体制を整えて頑張ってまいりますので、御意見、御希望等ありましたらお申し出頂ければと思います。皆様の御意見を頂いて支援の体制を強化していきたいと思ひます。今後とも是非ともよろしくお願ひいたします。本日は有難うございました。

(鈴木委員長)

以上をもちまして、委員会を終了いたします。本日は有難うございました。

議事録署名人

川崎市立川崎病院 地域医療支援病院運営委員会

委員

川崎市立川崎病院

平成30年度第3回地域医療支援病院運営委員会 会議録

1 開催日時 平成30年11月6日(火) 13時30分～14時30分

2 開催場所 川崎病院4階会議室

3 出席者

(1) 委員

鈴木 貞 (委員長)	川崎市医師会監事
金井 久弥 (副委員長)	川崎市歯科医師会会長
古川 智洋	川崎市医師会会長
田角 喜美雄	幸区医師会会長
髭内 宏光	幸区歯科医師会副会長
高橋 義和	川崎市薬剤師会会長
小林 由紀子	幸区薬剤師会会長
原田 美根子	川崎市看護協会常務理事
山口 義孝	川崎市連合町内会理事
馬場 武	川崎市健康福祉局保健医療政策室室長
林 露子	川崎市役所保健福祉センター所長
石井 博道	川崎市消防局川崎消防署署長

(2) 川崎病院

成松 芳明	病院長
大曾根 康夫	副院長兼患者総合サポートセンター所長
中道 憲明	患者総合サポートセンター担当部長兼地域医療連携推進担当部長
千島 美奈子	副院長兼看護部長
田熊 清継	救命救急センター所長
鬼澤 勝弘	歯科口腔外科部長
早川 和宏	薬剤部部長
角田 昭夫	放射線診断科担当課長
林 徳厚	事務局長
勝野 隆	庶務課課長
河 泰寿	医事課課長
北村 修	患者総合サポートセンター副所長
岡本 朋江	患者総合サポートセンター担当課長
森田 博志	患者総合サポートセンター担当課長
山村 信之	患者総合サポートセンター担当係長

4 資 料

平成30年度第2回川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会 次第

川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱

委員名簿

座席表

資料1 川崎市立川崎病院医療機能再編整備基本計画について

資料2 救急医療について

資料3 地域医療支援病院業務報告書の提出について

資料4 紹介患者の数等について

資料5 医療機器共同利用について

資料6 PET-CTについて

資料7 緊急受診・転院依頼応需状況について

資料8 地域の医療従事者を対象とした研修について

資料9 連携登録医の登録状況について

資料10 市民公開講座について

資料11 地域への取組について

資料12 医師の人事について

参考資料1 前回運営委員会 会議録

参考資料2 平成30年度川崎市立川崎病院「地域医療連携の会」次第

参考資料3 川崎病院パンフレット

参考資料4 地域医療連携便り vol.19

参考資料5 平成30年度第5回市民公開講座広報チラシ

参考資料6 川崎病院通信「くすの木」34号

参考資料7 小児科のご紹介

5 内 容

(1) 開 会 (司会進行 北村患者総合サポートセンター副所長 以下(8)まで)

定刻でございますので、ただ今より平成30年度第3回川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会を開催させていただきます。

本日の進行を務めさせていただきます、市立川崎病院患者総合サポートセンター副所長の北村でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、お手元の次第に沿いまして進めさせていただきます。

(2) 病院長あいさつ

病院長の成松でございます。本日は雨も降り始めましたが、地域医療支援病院運営委員会に御出席いただき、有難うございます。

10月4日に、当院2回目の地域医療連携の会を開催いたしました。関連施設、医師会の先方、多数御出席いただき、無事に終了することが出来ました。その結果を、お手元にあります地域医療連携便りにも掲載させて頂いておりますので、御覧ください。詳細は後程あらためて報告いたします。

また、今回は委員会を見直しまして、地域医療支援病院として救急医療に関しても活動報告をすべきかと考えましたので、救急医療についての報告も田熊センター長よりさせていただきます。そして、もう一つ当院の大きな方向性として、病院医療機能再編整備基本計画をスタートいたします。これについても、担当の大曾根副院長より説明をさせていただきたいと思っております。その他、何かと当院の運営について御意見その他ありましたら幸いです。宜しくお願い致します。

■ 配布資料の確認

本委員会要綱、次第、委員名簿、座席表、資料集（資料1～12）、参考資料1～7が、それぞれ各委員にあることを確認。

(4) 議事録署名人選出

(北村患者総合サポートセンター副所長)

次に、次第の「3」、議事録署名人の指名でございます。

本委員会につきましては、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例などに基づき、会議録の作成と、委員による当該会議録の確認が必要となっております。本委員会では、会議録の確認をしていただく委員を、議事録署名人として、委員会開催の都度、委員長に指名をお願いしたいと存じます。

鈴木委員長、よろしくお願ひいたします。

(鈴木委員長)

それでは指名させていただきます。

議事録署名人については、本日の委員会については、原田 美根子委員にお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(委員一同「異議なし」)

(鈴木委員長)

それでは原田委員、よろしくお願ひいたします。

(北村副所長)

有難うございました。

よろしければ、これ以降の進行は鈴木委員長にお願いしたいと存じます。よろしくお願ひいたします。

■ 会議公開の確認（進行 鈴木委員長）

(鈴木委員長)

それでは、議題に入ります前に、まず、次第の4「会議公開の確認」について委員の皆様にお諮りいたします。

川崎市では、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、このような会議は原則として公開することとなっております。非公開の事由となる個人情報や企業機密にかかわる事項はないとの事務局からの説明ですので、本日の会議についても公開としたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(委員一同「異議なし」)

(鈴木委員長)

それでは公開といたします。

(5) 傍聴者の確認・入室

(鈴木委員長)

次に、会議の公開決定に伴い、本日の委員会に係る傍聴希望者について、事務局から報告をお願いいたします。

(森田患者総合サポートセンター担当課長)

本日の傍聴希望者の方はいらっしゃいません。

(鈴木委員長)

有難うございました。

(6) 議 題 (進行 鈴木委員長)

ア 地域医療連携の会について (議題1)

(森田患者総合サポートセンター担当課長)

参考資料2の「地域医療連携の会 次第」と参考資料4「地域医療連携便り19号」をご覧ください。

- ・ 10月4日(木)19時から川崎フロンティアビルにて第2回地域医療連携の会を開催した。
- ・ 当日は、地域の医療機関の皆様、81機関から159名の方々に参加いただいた。
- ・ 昨年度は74機関、129名の御参加であった。昨年が増しまして盛会となったことをお礼申し上げる。
- ・ 院内の参加者は、医師が52名、その他医療スタッフ、事務員等が30名、合計82名であった。
- ・ 当日は盛況であったが、同時にやや会場が手狭であるという御意見もあったので、反省点として来年度に繋げていきたい。

イ 病院紹介パンフレットの作成について (議題2)

(成松病院長)

参考資料3のパンフレットをご覧ください。

- ・ 新たに当院のパンフレットを作成した。是非参考にして下さい。

ウ 「診療のご案内」について (議題3)

(森田患者総合サポートセンター担当課長)

- ・ 前回、当院の診療科紹介を盛り込んだ冊子を作成中であると報告したが、このたび8月末に完成となり、各委員の皆様には郵送にてお送りした。
- ・ 今回は4回目の発行となり、その間御指摘いただいた箇所を是正しながら改良し、作成した。
- ・ 特に今回は、裏表紙に交通と経路のご案内、また電話番号を記載し、冊子の中を見ずとも容易にご覧になれるよう工夫を行った。
- ・ 今後また御意見を頂きながら、次年度の発行に繋げていきたい。

エ 川崎市立川崎病院医療機能再編整備基本計画について（議題4）

（大曾根副院長）

- ・ 本年10月で当院の棟は竣工20年となる。
- ・ 狭隘化、老朽化の問題、また現在のニーズに沿えるようにということで、スマート化基本方針を平成27年に、中期経営計画を平成28年に策定した後、医療機能再編整備の基本構想を平成29年につくりあげた。平成30年度にはそれら計画をとりまとめ、確定した。
- ・ 10月初頭に福田市長に御説明申し上げ、来年度より新しい機能再編のための建築の基本設計を行っても良いという承認をいただいた。
- ・ 基本設計後は実施設計を行い、3年後に増築・改修工事を開始する予定である。
- ・ 全体計画の概要について。川崎市は現在人口が増加傾向にあり、平成29年には150万人を突破した。今後も増加する見込みであり、市では平成42年には158.7万人と人口のピークとなると推計している。
- ・ 川崎南部の患者数も増加しており、2025年には患者数が25%増加すると推計している。これらを踏まえた上で、医療機能再編整備基本計画を整備した。
- ・ 救急機能、がん診療機能、小児・周産期医療機能、その他政策的医療等の強化を図るべく、各施設を拡充する予定である。
- ・ 施設整備計画の概要について。現在地下1階にあるエネルギー関連設備を、災害対策の視点から現在の駐輪場地区へ新たにエネルギー棟を建築する。平成31年度に設計を行い、平成34年度中に竣工予定である。
- ・ 現在本棟1階にある救命救急センターについて、西側の職員駐輪場エリアに新たに2階建ての棟を建設する予定である。また現在本棟の9階南病棟が救急病棟となっているが、新たに建設する救急救命センターでは2階に設置し、20床のベッドを設置する予定である。これにより少数のスタッフで効率良くかつ迅速に救急救命医療を行える体制となる予定ある。
- ・ 以上により生じた本棟の空きスペースに内視鏡、小児科病床等各施設の拡充を行う。
- ・ 事業費は32億円を想定している。うち約半分は院内改修工事費となる予定である。
- ・ 全事業が完了するのは2025年を予定している。

（原田委員）

たとえば東日本大震災程度の震災が発生した場合、この地域一帯がどの程度水没すると考え、こういった計画をたてたのでしょうか。

（田熊救命救急センター所長）

多摩川、鶴見川などが氾濫した場合、この地域ですと最大3メートル、そのほかの河川でも1メートル水没すると推定されています。そのため、そういったことも考え調整しています。

（原田委員）

新しい計画では、2階以上に機能を充実させている、対応可能であるということでしょうか。

（田熊救命救急センター所長）

エネルギー棟に関しては問題ないです。その他の機能に関しては、御想像にお任せしま

す。

(原田委員)

有難うございます。

(鈴木委員長)

川崎区では、医師会で年1回、2～3年前から区役所を拠点にして模擬訓練のようなものが行われています。林先生、こういう時はこのように対応するなど、何かアドバイスがありましたらお願いします。

(林委員)

区役所でも、医師会をはじめ各団体の方々に御参加いただいて訓練を行っていますが、また川崎病院とも連携してすすめていければと思っています。

(鈴木委員長)

有難うございます。訓練は各地域で行っており、御意見も多々あると思いますので、その際には御意見を頂戴できればと思います。川崎区医師会会長、何か御意見ありますか。

(古川委員)

各区で災害の対策協議会があり策定しておりますが、各々問題点等もでてまだまだこれからだと感じています。

(鈴木委員長)

有難うございました。

オ 救急医療について(議題5)

(田熊救命救急センター所長)

資料2をご覧ください。

- ・ 救急患者数について。平成29年度は27,753人、うち救急車で搬送されてきた患者は6,451人、ウォークインが非常に多く21,302人だった。
- ・ 緊急で入院した患者数は3,665人と年々増加傾向にある。
- ・ 2次救急と3次救急を合わせた応需率は90.8%、5,144人となっている。数としては減少しているように見えるが、入院率も増えており、またより重症化している患者さん、いわゆる3次救急に関してはほぼ100%応需している。2次救急に関しては、ERがかなり狭隘なこともあり、状況を見ながらコントロールしつつ3次救急を対応している状況である。

(鈴木委員長)

石井委員より何か御意見ありますか。

(石井委員)

年間の川崎市の需要が昨年度ですと69,000件程度でした。毎年ほぼ1,000件程度増加している状況です。今年は70,000件を超えると推定されています。市立川崎病院ですと年間約6,000件程度を引き受けて頂いており、非常に応需率も良く我々の要望も聞いていただき対応をして頂いていると感じています。表を見ますと、平成26年と平成30年では、100件程度減少しているように感じますが、特に北部地域に多摩病院のような総合病院ができ救急を受け入れられている状況になっております。私どもからすると、川崎病院は需要に対ししっかりと受け入れてくれていると感じています。今後人口増も含めまだまだ需要数は増加していくと考えられます。特に高齢化が進んでおり、

高齢化による需要が今後ますます増加していくと思われるので、我々としてはあと救急隊を3隊ほど増やして活動したいと考えています。ぜひ今後とも宜しくお願いします。

(鈴木委員長)

有難うございます。

(山田委員)

地域の者からの意見としては、救急車が来ても受け入れ先が無い、と長時間待機させられている方が多くいらっしゃいます。

(石井委員)

確かに救急車が到着しても中々動かない状況が多々あるかと思えます。実際、患者さんを救急車内に入らせていただき、観察し状況を見て適応する搬送先を探すという段階になってくるため、その間どうしても時間がかかってしまうため、傍にいる方からすると心配になってしまいかも知れません。ただ、適正な時間を費やしたうえでなるべく早く医療機関へお繋ぎしたいと考えています。御理解いただければと思います。

カ 地域医療支援病院業務報告書の提出について(議題6)

(山村患者総合サポートセンター担当係長)

資料3をご覧ください。

- ・ 地域医療支援病院は医療法、及び医療法施行規則等により患者紹介や逆紹介、医療機器の共同利用の実績等を毎年10月5日までに川崎市に報告することになっている。
- ・ 今年度は9月3日(月)に報告を完了した。
- ・ 実際の報告資料は数十ページにもなるものになるため、表紙のみを資料としている。後日川崎市のホームページに提出したものが掲載されるため、そちらで確認することが可能である。

キ 紹介患者の数等について(議題7)

(中道患者総合サポートセンター担当部長)

- ・ 平成30年度4月から9月において、紹介患者6,043人、逆紹介患者6,856人初診患者9,044人、紹介率66.8%、逆紹介率75.8%となっている。

(鈴木委員長)

変化等は特に無いということでしょうか。

(中道患者総合サポートセンター担当部長)

前年度と比較するとそれ程の変化はございません。

(成松病院長)

初診患者の増加を目指しています。

ク 初診患者への紹介状持参の取り組みについて(議題8)

(大曾根副院長)

- ・ 最近紹介状を持参せず受診に来られる患者さんが増加している。地域医療支援病院の獲得を目指していた際は、病院でもアナウンスを行っていたが、最近は行っていなかった。
- ・ 紹介状の無い患者さんが増加すると予定の手術に遅延が発生することもあるため、対

策を行った。詳細は北村副所長から報告いたします。

(北村患者総合サポートセンター副所長)

- ・ 紹介状無しの初診患者さんを減らす対策として、院内放送、ポスター掲示、デジタルサイネージ、ホームページでの案内等、周知の取り組みを行った。今後くすの木への掲載も予定している。
- ・ 内容として、当院での診療は紹介患者さん、予約患者さんが優先であること、受診する際には近隣の診療所からの紹介状を持参すること、紹介状を持参しなかった場合、待ち時間が長くなることをご了承いただく、といった内容となっている。
- ・ 今後もこういった取り組みを行い、紹介状を持たない患者さんを減らしていきたいと考えている。

(鈴木委員長)

紹介状無しの患者さんは、整形外科が多いようですが、何か原因や傾向があるのでしょうか。

(北村患者総合サポートセンター副所長)

診療科によって差がでている状況がございます。整形外科は、おっしゃるように大変多い状況になっております。ただし一つの科に限らず、全ての科で紹介状をお持ちいただきたいというのが川崎病院の姿勢として、周知をしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

(鈴木委員長)

入院患者さんのほうにまで影響が及ばないように、取り組みをお願い致します。

(北村患者総合サポートセンター副所長)

了解いたしました。

ケ 医療機器共同利用について (議題9)

(岡本患者総合サポートセンター担当課長)

- ・ 資料5は、患者総合サポートセンターにおいて予約受付を行った件数となっている。
- ・ 10月は計78件、4月からの総計365件となっている。
- ・ PET-CTが導入されたことにより件数は増加しているが、PET-CTを除いた場合においても例年に比べると30件増という結果になっている。
- ・ PET-CTに関しては、議題10において別途報告する。

(鈴木委員長)

栄養相談の件数が増えていないように感じます。以前古川委員より指摘がありましたがその後計画や対策はあるのでしょうか。

(岡本患者総合サポートセンター担当課長)

前回の委員会で食養科長に出席していただき、近隣の医療機関にポスター等掲示させていただきました。ただその後の栄養相談は無く、また改めて活動を行っていこうと思いません。

(鈴木委員長)

栄養士さんは、相談に来られる方を待っているような状況なのでしょうか。

(岡本患者総合サポートセンター担当課長)

栄養相談は、その他の医療機器と同様に近隣の医療機関から紹介をいただいて診療情報

提供書を記入していただいております。

(鈴木委員長)

出張するような栄養指導は行ってないのでしょうか。

(岡本患者総合サポートセンター担当課長)

現在は行っていません。

(鈴木委員長)

私のところで何人が患者さんを紹介させていただきましたが、現在患者さんは非常に良い経過にあるようです。ただ半年ほど経過いたしますと指導されたことを忘れてしまうのか元に戻ってしまう傾向があります。ですので、同じ患者さんを2回3回と紹介するのも対策のひとつかと感じています。もし今後出張指導等の取り組みを始めるようであれば報告をお願い致します。

(岡本担当課長)

はい。検討させていただきます。

(成松病院長)

市民公開講座等々を利用しての広報も考えていきたいと思っています。機器共同利用の中ですと、どうしても紹介状をいただかないと動けないということもありますので、色々と検討したいと思います。

(鈴木委員長)

ぜひ検討を宜しくお願いします。

☐ PET-CTについて (議題10)

(森田患者総合サポートセンター担当課長)

- ・ PET-CTは今年度4月より運用開始された。
- ・ 4月中は院内の患者さんのみを対象としていたが、5月より対象を拡大し院外の患者さんも対象とした。
- ・稼働件数は10月までで304件、月平均43.4件となっている。
- ・現在、院外の患者さんの利用を進めていくために、患者総合サポートセンターを中心に広報を行っている。
- ・PET-CT共同利用のご案内(資料12頁)を作成し、主に川崎南部の病院に対し広報活動を行っている。
- ・今後は、自費での利用も対応するため、予約票(資料13頁)および依頼方法(資料14頁)を作成し、川崎病院でPET-CTを受けたいという医療機関へお渡ししていきたいと考えている。
- ・費用としては、予約票には概ね11万円となっているが、正確には103,108円(税込)を考えている。

(角田放射線診断科担当課長)

予約の枠はまだまだございます。また、2日あれば予約をとることが可能ですので、是非ご利用いただければと思います。宜しくお願いします。

(鈴木委員長)

以前友愛クリニックに診療外で依頼したことがありますが、費用が20~25万円程度だったと記憶しています。現在の自費診療はどの程度の費用が発生するのでしょうか。

(成松病院長)

自費診療に関しては、公立病院ではなかなか自由に医療費が設定できない、という縛りがあり、原則診療報酬の10割負担で、というのが現状です。そのため、計算をすると10万強の費用となります。おそらく友愛クリニックの20～25万円というのは、人間ドック等も兼ねての費用ではないか、と考えられます。当院では、健診部門がありませんので、健診目的の場合でも診療料を通してからの対応となります。

(古川委員)

どんどん紹介してもよろしいでしょうか。私自身も友愛で、15万円程で受けました。PET-CTを希望する患者さんはたくさんいると思います。

(成松病院長)

その費用はPET-CT単独の費用なのでしょうか。

(古川委員)

はい。単独です。

(成松病院長)

通常の検診ですと、多くはMRIなども兼ねて行っているように見受けられます。自費に関して言いますと、チェック等が多い保険適用枠に比べ、ご本人がお支払いに了解していただいているのであれば、歓迎したい患者さんですので、どんどんご紹介いただければと思います。枠もたくさんありますので、積極的に対応したいと思います。

(古川委員)

了解しました。

サ 緊急受診・転院依頼応需状況について（議題11）

(大曾根副院長)

- ・ 4月～10月までの緊急受診の依頼件数は569件、応需率は84.7%、入院率は65.5%。他の病院から当院への転院依頼件数は99件、応需率は70.7%。
- ・ 引き続き無理の無い範囲でできるだけ応需率を高めていきたいと考えている。

(岡本患者総合サポートセンター担当課長)

- ・ 非応需状況の理由として、診療科から医師が手術中のため応需不可となるケースが平成29年度21.1%、平成30年度は16.9%となっている。
- ・ 受付を行っている患者総合サポートセンターで、外科とERの連携により患者さんを受け入れたという事例を報告したい。
- ・ 10月の事例である。12時50分、他院より緊急受診の依頼が患者総合サポートセンターに入った。緊急受診フローに従い、外科部長へ電話対応した。その際、診察医を迅速に手配していただき、応需可能ということで応需となった。13時半に当院に救急車が来院した時点で、外科の診察医がオペ中であった。外科の診察医から手が離せないという回答があり、ERの医師に依頼をした。依頼された医師が患者さんの初診にあたり、診察と必要な検査指示を行った。

14時10分、外科の医師がオペ終了後ERに直接赴き診察を行った。その結果、オペということで治療方針が決定した。外科医師の指示によりERでの緊急手術の調整がされ、ERからオペ室へ搬送し21時50分にオペ終了、患者さんが病室へ入室した。

- ・ 診療科がオベ中で、緊急受診の応需が困難な事例がある中、今回の事例は緊急手術が想定される状況で外科の医師とER医師のスムーズな連携により、応需することが可能となった。診療科を超えた連携が、地域医療連携の質をより向上させていると考えている。今後もこういった事例を報告していきたいと考えている。

シ 地域の医療従事者を対象とした研修について（議題12）

（岡本患者総合サポートセンター担当課長）

- ・ 医師用の研修について。
 前回の委員会で4回目までの研修を報告した。以降は、9月12日（水）に川崎リウマチ膠原病セミナーが行われた。今後、11月16日（金）に第27回川崎リウマチ・膠原病診療懇話会、12月17日（月）に地域連携講演会が開催予定である。
 （岡本患者総合サポートセンター担当課長）
- ・ 看護師用の研修について。
 今年度は11回の研修を終了している。今後、11月7日（水）「知っとくナース」、また12月15日（土）16日（日）は緩和ケア委員会が主催の緩和ケア研修が開催予定である。

ス 連携登録医の登録状況について（議題13）

（山村患者総合サポートセンター担当係長）

資料9をご覧ください。

- ・ 7月2日以降11月1日までの連携登録医の登録状況は、医院の新規登録12件、歯科医院の新規登録1件、医院の登録削除1件、歯科医院の登録削除が1件で、11月1日現在医院の登録が257件、歯科医院の登録が139件、合計396件。

セ 市民公開講座について（議題14）

（山村患者総合サポートセンター担当係長）

資料10をご覧ください。

- ・ 今年度はこれまで4回の市民公開講座を開催しており、参加者は平均100名以上となっている。
- ・ 次回は12月17日（月）に循環器内科専門医、管理栄養士が動脈硬化の予防について講演予定である。

ソ 地域への取組について（議題15）

（山村患者総合サポートセンター担当係長）

資料11をご覧ください。

- ・ 当院では地域の皆様との連携にも取り組んでおり、8月20日に開催された「川崎区老人クラブ連合会」の「健康づくり講演会」において、当院の原泌尿器科部長が講演を行った。
- ・ また、9月22日には川崎駅前広域商店街連合会主催の防災イベントで、当院の看護師が講演を行っている。

- ・ その他キッズセミナーやNICU卒業生の会など、さまざまなイベントを開催している。今後とも、このような機会を捉えて、地域の皆様との絆を深めていきたいと考えている。

(鈴木委員長)

山田委員、何か御意見等ございますか。

(山田委員)

病気の話等は非常に皆様関心を持っています。しかし一般の皆様まで川崎病院で開催されている取り組みなどは届いていません。ですので、一般の皆様まで情報が行き渡るような広報、例えば町会長宛に送付するなど広報活動をお願いします。

(北村患者総合サポートセンター副所長)

貴重な御意見を有難うございます。川崎病院としては、区役所の地域振興課とも連携を行っており、情報について町会単位でご紹介いただいたり、また町会様の御意見を頂戴したりするなどを継続して今後も行っていきたいと思えます。山田委員のおっしゃる通り、今後当院側が出向いて小さい単位でも説明するような取り組みも検討したいと思えます。

(山田委員)

ぜひ宜しくお願いします。

タ 医師の人事について (議題16)

(成松病院長)

- ・ 前回以降、9月10月で5名の医師が着任しており、ほぼ入れ替え人事である。
- ・ また小児科の各専門医師を紹介する試みとして、顔写真を入れたパンフレットを作成した。ぜひご利用いただければと思います。

チ その他について (議題17)

(成松病院長)

- ・ 災害訓練でヘリポート使用の要請があるようなので、庶務課より報告いたします。

(勝野庶務課課長)

- ・ 参考資料として添付しているくすの木にも掲載しているが、当院で災害医療対応訓練実施した。この他、11月30日に消防局より依頼があり、緊急消防援助隊という制度により、当院のヘリポートを利用して訓練の一部が行われることになった。
- ・ 内容としては、午前に埼玉県の航空隊のヘリが支援隊として輸送を行い、午後に茨城県、川崎市の消防隊各1機ずつ搬送訓練を行う予定である。

(森田患者総合サポートセンター担当課長)

- ・ 参考資料として、前回委員会の会議録を配布した。後程御確認ください。
- ・ 次回第4回の委員会は、平成31年2月5日(火)を予定している。

(高橋委員)

災害時の水対策はどのようになっているのでしょうか。1階ですと水没の可能性があるので、上階に保存するべきだと思います。

(勝野庶務課課長)

災害対策として3日間分の水と食料を確保しており、現在は7階等上階で保管しています。

(高橋委員)

薬はどのように対策されていますか。

(早川薬剤部部長)

現在1階調剤室になりますので、薬も同様に1階保管となっています。また輸液に関しても、現在1階に保管されています。水没したら水没します。水没の可能性が発生した場合、人員を配置し、上階へ移動させるという方法しかありません。

院内に限定すれば薬はかなり確保されており、院外も対象となると3日分を原則として保管しています。

(8) 閉会(進行 鈴木委員長)

(鈴木委員長)

以上で、議題は全て終了いたします。それでは最後に成松病院より御挨拶をお願いいたします。

(成松病院長)

本日は長時間にわたり様々な御意見を頂戴し有難うございました。今後とも地域医療支援病院としての活動向上に向け、一丸となって取り組んでまいります。今後とも御支援の程よろしくお願い申し上げます。本日は有難うございました。

(鈴木委員長)

以上をもちまして、委員会を終了いたします。本日は有難うございました。

議事録署名人

川崎市立川崎病院 地域医療支援病院運営委員会

委員

川崎市立川崎病院

平成30年度第4回地域医療支援病院運営委員会 会議録

1 開催日時 平成31年2月5日(火) 13時30分～14時30分

2 開催場所 川崎病院4階会議室

3 出席者

(1) 委員

鈴木 真 (委員長)	川崎市医師会監事
金井 久弥 (副委員長)	川崎区歯科医師会会長
古川 智洋	川崎区医師会会長
田角 喜美雄	幸区医師会会長
髭内 宏光	幸区歯科医師会副会長
高橋 義和	川崎区薬剤師会会長
小林 由紀子	幸区薬剤師会会長
原田 美根子	川崎市看護協会常務理事
山田 義孝	川崎区連合町内会理事
馬場 武	川崎市健康福祉局保健医療政策室室長
林 露子	川崎区役所保健福祉センター所長
石井 博道	川崎市消防局川崎消防署署長

(2) 川崎病院

成松 芳明	病院長
大曾根 康夫	副院長兼患者総合サポートセンター所長
中道 憲明	患者総合サポートセンター担当部長兼地域医療連携推進担当部長
千島 美奈子	副院長兼看護部長
田熊 清継	救命救急センター所長
鬼澤 勝弘	歯科口腔外科部長
早川 和宏	薬剤部部長
角比 昭夫	放射線診断科担当課長
林 徳厚	事務局長
勝野 隆	庶務課課長
畑 泰寿	医事課課長
北村 修	患者総合サポートセンター副所長
岡本 朋江	患者総合サポートセンター担当課長
森田 博志	患者総合サポートセンター担当課長
山村 信之	患者総合サポートセンター担当係長

4 資 料

平成30年度第4回川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会 次第
川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱

委員名簿

座席表

- 資料1 最近の入院状況について
- 資料2 救急医療について
- 資料3 平成31年度ゴールデンウィークの診療体制について
- 資料4 (1) 神奈川県難病医療支援病院について
(2) 訪日外国人旅行者受入医療機関について
(3) 駐車場運営の民営化について
(4) 院内売店等について
(5) 新春コンサートの開催について
- 資料5 紹介率・逆紹介率について
- 資料6 医療機器共同利用について
- 資料7 PET-CTの利用実績と利用促進について
- 資料8 緊急受診・転院依頼応需状況について
- 資料9 地域の医療従事者を対象とした研修について
- 資料10 連携登録医の登録状況について
- 資料11 医師の人事について
- 資料12 市民公開講座について
- 資料13 平成31年度の運営委員会開催予定について
- 参考資料1 前回運営委員会 会議録
- 参考資料2 PET-CT検査受診者向けパンフレット
- 参考資料3 川崎病院アクセスMAP
- 参考資料4 第9回幸・川崎病診Net開催チラシ
- 参考資料5 平成30年度第6回、平成31年度第1回市民公開講座広報チラシ
- 参考資料6 地域医療連携便り vol. 20
- 参考資料7 川崎病院通信「くすのき」35号

5 内 容

(1) 開 会 (司会進行 北村患者総合サポートセンター副所長 以下(4)まで)

定刻でございますので、ただ今より平成30年度第4回川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会を開催させていただきます。

本日の進行を務めさせていただきます、市立川崎病院患者総合サポートセンター副所長の北村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、お手元の次第に沿いまして進めさせていただきます。

(2) 病院長あいさつ

■ 配布資料の確認

本委員会要綱、次第、委員名簿、座席表、資料集（資料1～13）、参考資料1～7が、それぞれ各委員にあることを確認。

(4) 議事録署名人選出

(北村忠喜総合サポートセンター副所長)

次に、次第の「3」、議事録署名人の指名でございます。

本委員会につきましては、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例などに基づき、会議録の作成と、委員による当該会議録の確認が必要となっております。本委員会では、会議録の確認をしていただく委員を、議事録署名人として、委員会開催の都度、委員長に指名をお願いしたいと存じます。

鈴木委員長、よろしくお願いいたします。

(鈴木委員長)

それでは指名させていただきます。

議事録署名人については、本日の委員会については、馬場委員をお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(委員一同「異議なし」)

(鈴木委員長)

それでは馬場委員、よろしくお願いいたします。

(北村副所長)

ありがとうございます。

よろしければ、これ以降の進行は鈴木委員長にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

■ 会議公開の確認（進行 鈴木委員長）

(鈴木委員長)

それでは、議題に入ります前に、まず、次第の4「会議公開の確認」について委員の皆様にお諮りいたします。

川崎市では、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、このような会議は原則として公開することとなっております。非公開の事由となる個人情報や企業機密にかかわる事項はないとの事務局からの説明ですので、本日の会議についても公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員一同「異議なし」)

(鈴木委員長)

それでは公開といたします。

(5) 傍聴者の確認・入室

(鈴木委員長)

次に、会議の公開決定に伴い、本日の委員会に係る傍聴希望者について、事務局から報告をお願いいたします。

(森田患者総合サポートセンター担当課長)

本日の傍聴希望者はいらっしゃいません。

(鈴木委員長)

ありがとうございました。

(6) 議 題 (進行 鈴木委員長)

ア 最近の入院状況について (議題1)

(大曾根副院長兼患者総合サポートセンター所長)

- ・ 資料1の日報は、午前8時30分の入院患者数を集計したものである。
- ・ 川崎病院全体の病床数は650床であり、うち55床は制約等により一般の入院には使用不可のため、実稼働数は595床である。
- ・ 595床のうち、産科病棟、小児科病棟は制約等があるため、一般の救急外来からの入院できる患者数は、日によって変動があるが560～570床である。
- ・ 資料1に記載されている入院患者病床数は、1月1日元旦やお正月期間は300～400床と少ないが、お正月明けはインフルエンザ等感染症、その他の理由により患者が急増しており540～588床と満床に近い状態が続いている。
- ・ 資料1の川崎病院救急日報は、午前8時30分の時点での救急外来患者数および入院患者数である。
- ・ 1月より救急の患者さんが増加しており特に週末は多く、1月の3連休(12日～14日)の13日(日)は255件、連休ではないものの20日(日)は240件と非常に多い。
- ・ 内科の一般外来からの入院患者が非常に多く、週末においては30人以上が緊急入院となっている。
- ・ クリニック、診療所の先生方の入院要請には出来るだけ応えていきたいので、出来る限り受け入れの努力は引き続き行っていくが、医師の働き方改革、労務問題、ないかの若手医師の疲弊の状況もあり、登録医の先生方からの入院の申し込みについて、その時のベッド状況によってはお断りせざるを得ないことがあることを御了承いただきたい。

(鈴木委員長)

インフルエンザの流行について、林委員お願い致します。

(林委員)

インフルエンザにつきましては、川崎市で現在の方法で統計を取り始めてから、今年は過去最多になっております。川崎区ですと第4週が117、第5週が88と若干減少しています。ただし全市で見た場合の数値は現時点ではまだ分かりません。今年はA型でも二つのパターンが同時に流行しており、重複感染や、1人でA型に2回感染するなどといった事例も報告されています。今後も引き続き注意が必要であると考えています。

イ 救急医療について (議題2)

(田熊救命救急センター所長)

- ・ 全救急搬入患者数は、2016年の6,961件、2017年の6,478件に比

較すると、2018年は6,015件と減少しており、例年と同様夏季と冬季に集中している。特に1月2月は650人に届く数となっており、ピークになるところではERでも全員を収容しきれない状況となっている。7月もかなりの人数になる。

- ・ 3月～5月は閑散期となっており、十分に対応できる状況である。
- ・ 3次救急数は、2016年の1,408件、2017年の1,385件と比較すると2018年は1,173件と減少しているが、特に冬季に患者が集中しており、満床状況となっている。
- ・ 救急科対応患者の疾病の内訳は、内因性が5,861例、外因性が1,901例となっており、外因性が内因性の約3割程度となっている。
- ・ 内因性の内訳は、肺炎を中心とした感染症が15%と最も多い。
- ・ 外因性の内訳は、頭部外傷21%、顔面外傷19%、上肢外傷17%、体幹外傷17%、下肢外傷16%となっている。
- ・ 救急車非対応需率の推移については、救命救急センターの使命は3次救急を断らないことであり、2015年より3次救急についてはほぼ断っていない。しかし2次救急については約10%程度非応需となり、特に冬季は約20%まで非応需になっている状況である。
- ・ 非応需の理由として、医師または看護師が患者対応中である、またはベッド満床があげられる。その他、3次救急を最優先とするため、2次救急を制限(DV(ダイバージョン))している。
- ・ DV発令回数は98件と減少している。これは努力の成果と考えている。
- ・ DV延時間は1.3時間とかなり良い状況となっているが、冬季と夏季のピーク時にはベッド満床等により応需出来ない可能性がある。

ウ 平成31年度ゴールデンウィークの診療体制について(議題3)

(林事務局長)

- ・ 平成31年1月15日付で厚生労働省から各都道府県知事宛てに「本年4月27日から5月6日までの10連休における医療提供体制の確保に関する対応について」と通知が来た。
- ・ 昨年より当院でも10連休中の医療体制について検討しており、市立病院として必要な医療を引き続き提供していくため、手術に関しては体制を組んでいる。また、その他3次救急についても、手厚く対応していくことは確定している。
- ・ その他に関しては現在調整中であるが、準緊急の入院患者さんの手術日を10日間お待たせすることがないように、5月2日を手術日とするよう内部の体制を取り組み中である。
- ・ 化学療法治療や放射線治療については、年末年始と同様の対応をするよう調整中である。
- ・ ほかに調整中の項目があり、確定までは今しばらく時間がかかる。

エ 神奈川県難病医療支援病院について(議題4)

(勝野庶務課課長)

- ・ 神奈川県がん・疾病対策課より、県内における適切な難病医療提供体制を構築する

ため、県難病医療支援病院の指定について協力要請があった。

- ・ 要請を受け、当院で検討し病院局へ確認した結果、神奈川県難病医療支援病院に申請することになった。
- ・ 指定要件として難病指定医20人以上となっており、当院は現時点で常勤52名、非常勤20名、計72名が在席している。また、難病4疾患群以上の治療実績も指定要件となっており、当院は13疾患群の治療実績がある。また、救急病院の指定においても、当院は3次医療も行っているため、指定要件は全て満たしている。
- ・ 平成31年3月中には県より指定される予定である。

オ 訪日外国人旅行者受入医療機関について（議題5）

（勝野庶務課課長）

- ・ 神奈川県国際観光課・医療課より訪日外国人旅行者の安全・安心を確保するため、外国人患者の受け入れが可能な医療機関の登録依頼があった。
- ・ 当院では昨年8月よりプロジェクトチームを立ち上げ、必要な予算の確保が見込まれたことにより、登録申請を行った。
- ・ 対応診療科として、英語は救急科、内科、小児科、整形外科、眼科、耳鼻科が対象となる。
- ・ 平成31年度に新たに院内でWi-Fiエリアの拡充、タブレット端末5台整備を行う予定である。また、24時間365日対応の電話医療通訳サービスの導入（15ヶ国語対応、月額16,200円）、院内掲示物や診療書類の英語翻訳サービスも行う予定である。
- ・ 平成31年4月より、国や県のホームページに告知予定。

（鈴木委員長）

外国人旅行者に関して、現状通りの自費診療になりますか。

（勝野庶務課課長）

はい。外国人旅行者の場合、海外旅行の保険の中に医療保険の特約などがあり、そうしたものに加入していると思われそうですが、いずれにしても自費診療となります。

（鈴木委員長）

ありがとうございます。民間の医療機関では、外国人旅行者の場合保険に未加入であることが非常に多く、未収金の発生が問題となっていますので、意見させていただきました。

（畑医事課課長）

ありがとうございます。鈴木委員長の御指摘通り、外国人観光客による未収の事例は当院でも発生いたしましたので、由々しき問題であると認識しています。

カ 駐車場管理の民営化について（議題6）

（勝野庶務課課長）

- ・ 現在直営で約160台分を運営しているが、より効率的で効果的な運営を行えるよう昨年運営事業者の公募を実施し、応募のあった5社のうち三井不動産リアルティ㈱に管理をお願いすることが決定した。
- ・ 平成31年4月1日より実施開始予定である。

キ 喫茶「いくおう」の閉店、院内販売（コンビニエンス）の変更について（議題7）

（勝野庶務課課長）

- ・ 障害者の福祉的就労、就労訓練、実習の場の確保を目的とした本市のふれあいショップ事業の1つとして、平成13年より当院2階に喫茶いくおうが開設されていたが、近年障害者雇用促進法の改正等により障害者の雇用が進む中、ふれあいショップ事業も一定の役割を終えたことから今年度末に事業が廃止となり、喫茶「いくおう」も3月8日を最後に、営業を終了することが決定した。
- ・ 営業終了後は、外来患者さんの休憩室（イート・イン・スペース）として活用予定である。
- ・ 平成31年4月中旬より、1階のコンビニエンスがファミリーマートからローソンへ変更になる。ローソンは、コンビニエンス業界唯一の病院専門チームが運営をフォローしているホスピタルローソンとなる。

ク 新春コンサートの開催について（議題8）

（勝野庶務課課長）

- ・ 例年開催している新春コンサートを、平成31年1月3日（火）に開催した。
- ・ 昨年に引き続き、洗足学園音楽大学から協力をいただき、当日は35名の参加があった。

ケ 紹介率・逆紹介率について（議題9）

（大曾根副院長兼患者総合サポートセンター所長）

- ・ 平成30年4月～12月までの紹介患者数は8,774人、逆紹介患者数は10,525人、初診患者数は12,837人、紹介率68.3%、逆紹介率82.0%であった。
- ・ 地域医療支援病院の認定要件として、紹介率50%、逆紹介率70%が必須であるため、いずれも要件を満たしている。

コ 医療機器共同利用について（資料10）

（岡本患者総合サポートセンター担当課長）

- ・ 患者総合サポートセンターで医療機器共同利用を受付けた件数は、11月53件、12月42件、1月38件であった。
- ・ 平成30年4月からの合計件数は現在498件である。
- ・ 平成29年度の合計件数は411件であった。PET-CT導入もあり、昨年度よりも件数は上回っている。

カ PET-CTの利用実績と利用促進について（資料7）

（角田放射線診療科担当課長）

- ・ PET-CT稼働開始である4月より、1月までの利用実績は464件である。8月、9月、10月においては若干減少傾向にあったが、12月、1月は増加傾向にある。

- ・ PET-CT利用にあたり、当院のPET-CTを利用する患者さんに向けたパンフレットを作成した。また、PET-CTに限らず、当院へ来る患者さんへのアクセスマップも新たに作成した。今後は、紹介して頂く医師の皆様方を対象にした、分かりやすい資料を作成する予定である。

(鈴木委員長)

パンフレットは、クリニックの待合室に置いておいた方がよろしいでしょうか。

(角田放射線診断科担当課長)

はい。現在、連携登録医のクリニックさんに配布している段階です。ぜひ置いていただければと考えています。

(鈴木委員長)

了解しました。

(成松病院長)

追加になりますが、アクセスマップに関してもぜひ御利用下さい。

(鈴木委員長)

了解しました。

シ 緊急受診・転院依頼応需状況について（議題12）

(大曾根副院長兼患者総合サポートセンター所長)

- ・ 11月の当日緊急受診の応需率は86.3%と、従来と同様の数値となっている。ただし12月は77.0%、1月は57.4%と下がっている。
- ・ 当口緊急受診による入院率は、11月が78.3%、12月57.9%、1月69.7%となっている。
- ・ 転院の応需率は、11月88.5%、12月80.0%、1月64.7%となっている。
- ・ 例年の傾向として、2月初旬～中旬頃には応需率、入院率低下を脱する見込みとなっている。

(岡本患者総合サポートセンター担当課長)

応需状況の1例を報告します。

- ・ 発熱、胆のう炎でA病院に入院中の患者が、転倒しCT上「外傷性くも膜下出血、硬膜下血腫」が指摘された。
- ・ しかし脳外科医不在のため、翌日脳外科医がいるB病院へ転院となった。
- ・ B病院では「脳外科的にOP治療の適応が無く、入院ベッドも満床、胆のう炎の治療継続が必要」のため、当院へ転院搬送となった。
- ・ 患者総合サポートセンター連携窓口では、受電後当院脳神経外科医へ電話を繋ぎ、直接医師同士での調整となった。
- ・ その後、脳神経外科医から救急科コーディネーターへ連絡し、救急車搬送のためERでの応需となった。
- ・ 脳外科では外傷性硬膜下血腫は保存的経過観察となり、内科での胆のう炎の治療が開始された。
- ・ 現在、かかりつけであるA病院へ転院調整中。
- ・ 以上は、病院間の連携、当院の診療科間の連携で治療が継続され、本来のかかりつ

け病院であるA病院へ転院調整をしている事例である。

ス 地域の医療従事者を対象とした研修について（議題13）

（森田患者総合サポートセンター担当課長）

- ・ 平成30年度の地域の医療従事者（医師）を対象とした研修は、現在9回開催している。
- ・ 今後の予定として、2月8日（金）に第7回SKAR研究会、2月21日（木）に第394回川崎小児科医会症例検討会、2月25日（月）第9回幸・川崎病診Netを開催予定である。

（岡本患者総合サポートセンター担当課長）

- ・ 平成30年度の地域の医療従事者（看護師）を対象とした研修は現在までで16回。今後の予定として、2月13日（水）出張講座、2月15日（金）地域ケア懇談会、3月5日（火）アドバンス・ケア・プランニング研修会、3月6日（水）、知っとくナース、3月6日（水）院内講演会を開催予定。

（古川委員）

医師用の研修については、リウマチに片寄過ぎではないでしょうか。そのため、院外の出席者が少ないように感じます。来年度はもう少しプログラムに関して御検討されてみては如何でしょうか。

（森田患者総合サポートセンター担当課長）

ありがとうございます。そのような御指摘を、院内でも受けておりますので、改善していきたいと思っております。御指導等宜しくお願い致します。

（原田委員）

看護師用研修の、3月5日開催のアドバンス・ケア・プランニング研修会について、これは今までも川崎病院で開催されていた研修なのでしょうか。また、地域包括ケアを進める際、この意思決定支援というのが重要で看護協会でもこのような研修を組むようになりました。大事なものは、本人や看護師だけではなく、治療の方針に沿った医師も含めてのプランニングですので、医師の研修に含まれていないのは疑問に感じます。病院の方針等を教えてください。

（岡本患者総合サポートセンター担当課長）

アドバンス・ケア・プランニング研修会は、今年度より初めて開催する研修となります。院内の医師や看護師、2月1日に連携登録医の先生方、また看護協会、訪問看護ステーション等に案内を配布しております。

（成松病院長）

追加させていただきます。この研修会は看護師用に含まれていますが、実際は医師を含めた全職員を対象としています。また、研修会というよりは講演会、勉強会というように捉えて頂ければと思います。

（原田委員）

ありがとうございました。

セ 連携登録医の登録状況について（議題14）

（山村患者総合サポートセンター担当係長）

- ・ 前回の委員会より、幸区と鶴見区で新規登録が1件ずつあり、平成31年2月1日時点での連携登録医件数は397件である。
- ・ 新規登録の2件の詳細については、資料10を御参照下さい。

ソ 医師の人事異動について（議題15）

（成松病院長）

- ・ 12月1日付けで、心臓血管外科担当部長として南雲医師が着任した。現在当院では心臓血管外科の手術が停滞しているが、4月からの再開に向け準備を鋭意進めている。

タ 市民公開講座について（議題16）

（山村患者総合サポートセンター担当係長）

- ・ 12月17日（月）に第5回市民公開講座を開催し、110名の参加者があった。
- ・ 次回は2月15日（金）に第6回市民公開講座開催予定である。
- ・ 平成31年度に関しては、30年度と同様全6回を開催する予定であり、4月19日（金）に第1回を開催予定である。
- ・ 第2回以降は詳細が決まり次第、改めて報告する。

チ 平成31年度の運営委員会開催予定について（議題17）

（山村患者総合サポートセンター担当係長）

- ・ 平成31年度も30年度と同様、全4回の開催を予定している。
- ・ 委員の皆様には事前に文書にて開催の御提案をさせていただいた。
- ・ 第1回を5月28日、第2回を7月30日、第3回を10月29日、第4回を2月4日、いずれも火曜日の13時30分から14時30分、川崎病院会議室にて開催予定である。
- ・ 現時点では委員の皆様全員出席可能との御回答を頂いている。次年度の本委員会も何卒宜しくお願ひしたいと存じます。

（7）その他（進行 鈴木委員長）

（森田患者総合サポートセンター担当課長）

- ・ 本日今までに御説明させていただいた資料の他に、参考資料として何点が資料を添付しています。それぞれ若干目的は異なりますが、本院の広報活動の一環として、御目通しいただければと存じます。

（8）閉会（進行 鈴木委員長）

（鈴木委員長）

以上で、議題は全て終了いたします。それでは最後に成松病院より御挨拶をお願いいたします。

（成松病院長）

本日も委員の皆様には的確な御意見を頂戴しありがとうございました。本日は当院の一番の繁忙期を迎えまして診療事情も御説明させていただきましたが、今後地域医療支

援病院として、地域の医療機関の皆様との連携を第一に考え、運営していきたいと考えています。また折に触れて御意見、御指導をお願い致します。本日はありがとうございました。

(鈴木委員長)

以上をもちまして、委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。

議事録署名人

川崎市立川崎病院 地域医療支援病院運営委員会

委員

(様式例第19) 患者相談の実績 その1

患者相談を行う場所	相談窓口・ <u>相談室</u> ・その他()
主として患者相談を行ったもの (複数回答可)	医療ソーシャルワーカー 7名(常勤3名 非常勤4名)
患者相談件数	37,280件
患者相談の概要	
1 主な相談内容 1) 受診・受療援助 2) 医療費や生活費に関わる経済的問題(各種保険制度、医療費助成制度、生活保護等) 3) 退院援助相談(在宅への退院、移転院・他施設への転院や入所) 4) 児童・高齢者虐待に関すること 5) 医療・福祉サービス活用援助(自立支援サービス、介護保険サービス)等 2 主に連絡を取り、連携を取り合う地域の関係機関 1) 経済的問題—区役所(福祉事務所、障害者担当、国民健康保険担当)、加入の健康保険者 2) 在宅生活についての支援—地域包括ケアセンター、担当ケアマネージャー、区役所(高齢者担当、障害者担当、児童担当) 3) 医療・福祉サービス—区役所関係部署(高齢者担当、障害者担当、児童担当) 4) 転院・施設入所について—療養病院、回復期リハビリ病棟、緩和ケア病棟等の担当MSW	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

患者相談を行う場所	相談窓口 ・ 相談室 <u>その他</u> (アドボカシー相談室)
主として患者相談を行った者	アドボカシー相談員2名
患者相談件数	374 件
患者相談の概要	
<p>【医療の体制・制度に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診の際、検査もしないで薬を処方された。翌日症状が悪化し、別のクリニックで別の病名を言われた。 ・スポーツをしているのでスポーツ専門医を勧められたが、病名など具体的に教えて欲しかった。 ・予約の日に子供の体調が悪く行けなくなった。その後落ち着いたので電話をしたら、予約は取ることができないと言われた。ルルばかりではなく、もっと柔軟に対応して欲しい。 ・医師がころころ変わりすぎる。経過説明をするのも大変だし信頼関係を築くのも大変である。 <p>【職員の対応に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の対応が悪い。人として対応してくれていない。とげのある言い方。 ・職員の思いやりの無い言動。 ・総合案内での初診料がかかるかもしれない、2〜3時間待つかもしれない等、曖昧な言い方。 ・「待ち時間が長い」と言ったら「他のクリニックに行ってください」と言われた。 ・職員は患者の日も見ずに話も聞いてくれない。 <p>アドボカシー患者相談は、医療に関する患者・家族の不安、疑問、苦悩等の解決に努めることにより、患者・家族と医療者間の相互理解を深め、医療安全及び患者サービス向上を図ることが目的です。相談員は患者・家族が抱く不安、疑問、苦悩を受け止め、患者・家族の利益・権利を尊重しながら、問題解決のための活動（調査、調整等）・支援を行なっています。</p>	
<p>2 対策等</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 個別に対策を請じ、相談者に回答している。 イ 関係部署・責任者への伝達・報告。 ウ アドボカシー事例集を作成し、職員の啓蒙活動を行っている。 エ 制度のなかで改善できることがあれば改善に努めている。 	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式例第20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構による評価(平成27年12月15～16日)	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 地域の医療機関様宛「外来診療担当表」を毎月送付している。 地域の医療機関様宛「地域医療連携便り」を年4回発行し、送付している。 当院のホームページで患者総合サポートセンターの頁を設けて掲載している。	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 医師・看護師・MSWなど多職種で連携して退院調整を実施している。 30年度実績(件数) 退院調整カンファレンス 1,397件 訪問看護関連 376件 訪問診療関連 362件 ケアマネージャー調整 921件 退院時医療処置 669件 (うち在宅酸素調整146件)	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 神奈川脳卒中地域連携パス 30年度 32件 大腿骨頭部骨折地域連携パス 30年度 24件 ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 神奈川東部脳卒中連携の会(年3回) 神奈川東部整形外科地域連携の会(年3回) 各医療機関主催の地域医療連携の会に参加している。 関係する医療機関への訪問を行っている。	